

R 6 営繕 鳴門高等学校 鳴・撫養 研修会館等改修工事建築

図 面 目 録

| 通し番号 | 図面番号 | 図面名称 | 通し番号 | 図面番号 | 図面名称 | 通し番号 | 図面番号 | 図面名称 |
|------|-------|-----------------------------------|------|------|-----------------------------------|------|------|----------------------|
| 1 | - | タイトル 図面目録 | 18 | A-11 | (現況 改修) 3階 平面詳細図 改修概要書 | 35 | E- 1 | 電気工事 特記仕様書 |
| 2 | 共-01 | 営繕工事共通仕様書(1) | 19 | A-12 | (現況) (改修) 2階 女子シャワー室・トイレ展開図 | 36 | E- 2 | 電気設備凡例・照明器具参考図 |
| 3 | 共-02 | 営繕工事共通仕様書(2) | 20 | A-13 | (現況) (改修) 2階 男子シャワー室・トイレ展開図 | 37 | E- 3 | 盤単線結線図 改造 |
| 4 | 共-03 | 営繕工事共通仕様書(3) | 21 | A-14 | (現況 改修) 3階 男子・女子トイレ展開図 | 38 | E- 4 | コンセント設備 1階平面図(現況/改修) |
| 5 | 改特-01 | 建築改修工事特記仕様書(1) | 22 | A-15 | (現況) (改修) 天井改修概要書、天井改修平面図(1・2・3F) | 39 | E- 5 | コンセント設備 2階平面図(現況/改修) |
| 6 | 改特-02 | 建築改修工事特記仕様書(2) | 23 | A-16 | (現況) 建具配置図 建具表 | 40 | E- 6 | 電灯設備 2階平面図(現況/改修) |
| 7 | 改特-03 | 建築改修工事特記仕様書(3) | 24 | A-17 | (改修) 建具配置図、建具表 | 41 | E- 7 | コンセント設備 3階平面図(現況/改修) |
| | | | 25 | A-18 | 各部詳細図 参考図 | 42 | E- 8 | 電灯設備 3階平面図(現況/改修) |
| | | | 26 | A-19 | (現況) 支障物件確認図 | | | |
| | | 【研修会館】 | | | | | | |
| 8 | A- 1 | 付近見取図 配置図 仮設計画図 | | | | | | |
| 9 | A- 2 | 現況平面図 仮設間仕切・養生範囲 | | | 【部室棟】 | | | |
| 10 | A- 3 | (改修) 1・2・3階 平面図、改修床面積表 | 27 | A-20 | 配置図 支障物件確認図 概略工程表(参考) | | | |
| 11 | A- 4 | (現況) 1階・2階・3階 平面図 | 28 | A-21 | 1、2階平面図<既存> | | | |
| 12 | A- 5 | (現況) 立面図 | 29 | A-22 | 便所平面図<既存、改修後> 仕上表<既存、改修後> | | | |
| 13 | A- 6 | (現況) 矩計図(1) | 30 | A-23 | 立面図(参考図) | | | |
| 14 | A- 7 | (現況) 矩計図(2) | 31 | A-24 | 矩計図 断面詳細図(参考図) | | | |
| 15 | A- 8 | (現況 改修) 1階 平面詳細図、展開図、仕上表 | 32 | A-25 | 便所平面詳細図<既存><改修後> | | | |
| 16 | A- 9 | (現況 改修) 2階宿泊室 平面詳細図、改修概要書 | 33 | A-26 | 便所展開図<既存><改修後> | | | |
| 17 | A-10 | (現況 改修) 2階男女トイレ・シャワー室 平面詳細図、改修概要書 | 34 | A-27 | 建具表<既存><改修後> トイレブース扉廻り改修詳細図(参考図) | | | |

| 課長 | 副課長 | 課長補佐 | 係長 | 課員 | 担当 |
|----|-----|------|----|----|----|
| | | | | | |

| 章 | 項目 | 特記事項 | 章 | 項目 | 特記事項 | 章 | 項目 | 特記事項 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---|---|------------------|--|---|-------|--------------|--------------|------|--------|-------------------------|------|----------------|------------|---------------|---------|--|-----|---------|--------|--|--------|---|--|----------------------------------|---------|--|--------|---|------------|---|--|
| 一章 | 一般共通事項 | <h3>I. 工事概要</h3> <p>1. 工事名称 R 6 営繕 鳴門高等学校 鳴・撫養 研修会館等改修工事建築</p> <p>2. 工事場所 鳴門市撫養町斎田</p> <p>3. 建物概要</p> <table border="1"><thead><tr><th>建物名称</th><th>【研修会館】</th><th>【部室棟便所】</th></tr></thead><tbody><tr><td>構造・規模</td><td>R C 造 地上 3 階</td><td>R C 造 地上 2 階</td></tr><tr><td>敷地面積</td><td>(m2)</td><td>27,051 (m2) (運動場用地)</td></tr><tr><td>延床面積</td><td>844. 47 (m2)</td><td>232 (m2)</td></tr><tr><td>消防法施行令別表第1の区分</td><td>(7) 項</td><td></td></tr></tbody></table> <p>4. 工事種目</p> <table border="1"><thead><tr><th>種 目</th><th>工 事 概 要</th></tr></thead><tbody><tr><td>【研修会館】</td><td></td></tr><tr><td>建築一式工事</td><td>・ 1 階厨房WC・2 階男女WC・シャワー室・3 階WCの内装改修及び衛生器具取替え ・ 3 階和室 6 帖を女子WC に改修</td></tr><tr><td></td><td>・ 2 階生徒・教師男女宿泊室の既存床材（アスベスト含有）を貼替</td></tr><tr><td>【部室棟便所】</td><td></td></tr><tr><td>建築一式工事</td><td>・ 1 階男女WCの洋便器化（リモデル工法） ・ 上記に伴うトイレ・外の開きへの改修</td></tr></tbody></table> <p>5. その他 本工事は、資材価格高騰に対する特例措置について（令和4.12.9建設第686号）に基づく特例措置の対象工事である。</p> <h3>II. 営繕工事共通仕様書</h3> | 建物名称 | 【研修会館】 | 【部室棟便所】 | 構造・規模 | R C 造 地上 3 階 | R C 造 地上 2 階 | 敷地面積 | (m2) | 27,051 (m2) (運動場用地) | 延床面積 | 844. 47 (m2) | 232 (m2) | 消防法施行令別表第1の区分 | (7) 項 | | 種 目 | 工 事 概 要 | 【研修会館】 | | 建築一式工事 | ・ 1 階厨房WC・2 階男女WC・シャワー室・3 階WCの内装改修及び衛生器具取替え ・ 3 階和室 6 帖を女子WC に改修 | | ・ 2 階生徒・教師男女宿泊室の既存床材（アスベスト含有）を貼替 | 【部室棟便所】 | | 建築一式工事 | ・ 1 階男女WCの洋便器化（リモデル工法） ・ 上記に伴うトイレ・外の開きへの改修 | 7. 下請負人の選定 | 受注者は、本工事の一部を下請に付する場合は、工事の施工に十分な能力と経験を有した者を選定すると共に、徳島県内に主たる営業所を有するものの中から優先して選定するように努めなければならない。なお、請負対象額（設計金額）が1億円以上の工事については、徳島県内に主たる営業所を有するもの以外と下請契約する場合に、県内業者を選定しない理由を記した理由書を事前に監督員に提出しなければならない。 | 受注者は、高さ2m以上の箇所で作業を行う場合は、墜落防止に留意し、作業日毎に「墜落防止チェックシート」を活用して点検を行い、その記録を保管すること。 |
| 建物名称 | 【研修会館】 | 【部室棟便所】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 構造・規模 | R C 造 地上 3 階 | R C 造 地上 2 階 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 敷地面積 | (m2) | 27,051 (m2) (運動場用地) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 延床面積 | 844. 47 (m2) | 232 (m2) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 消防法施行令別表第1の区分 | (7) 項 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種 目 | 工 事 概 要 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【研修会館】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建築一式工事 | ・ 1 階厨房WC・2 階男女WC・シャワー室・3 階WCの内装改修及び衛生器具取替え ・ 3 階和室 6 帖を女子WC に改修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ・ 2 階生徒・教師男女宿泊室の既存床材（アスベスト含有）を貼替 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【部室棟便所】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建築一式工事 | ・ 1 階男女WCの洋便器化（リモデル工法） ・ 上記に伴うトイレ・外の開きへの改修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 8. 施工体制台帳及び施工体系図 | 受注者は、本工事の全部若しくは一部について、指名停止期間中の有資格業者と下請契約を締結してはならない。（なお、有資格業者とは、建設工事の請負契約に係る一般競争入札及び指名競争入札参加資格審査要綱（昭和58年1月18日徳島県告示第50号）第5条の規定により参加資格の認定を受けた者をいう。） | 仮囲いを設置する場合は、設置後に「営繕課発注現場安全再確認シート」を活用して点検を行い、その記録を保管すること。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 9. 電気保安技術者等 | 施工体制台帳の作成 受注者は、下請契約（以下の(3)及び(4)の場合を含む。）を締結した場合は、施工体制台帳及び再下請負通知書（以下「施工体制台帳」という。）を自らの責任において作成・保存するとともに、施工体制台帳を工事現場に備置置かなければならない。 | 上下作業や直下階の施設を利用しながらの直上階（天井）のスラブはつり工事は、原則禁止とする。やむを得ず行う場合は、飛来落下の危険を生じるおそれがあるため、適切な防護措置を講じ安全確保を図り、施工手順について監督員の承諾を得たうえで、指定された時間に行うこと。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 10. 施工中の安全確保 | 施工体系図の作成及び揭示 受注者は、下請契約（以下の(3)及び(4)の場合を含む。）を締結した場合は、各下請負者の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律に従って、工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲げなければならない。警備業者の記載 受注者は、交通誘導警備員を配置するときは、警備業者を含めて施工体制台帳及び施工体系図を作成・保存しなければならない。運搬業者の記載 受注者は、土砂等を運搬する大型自動車を設置するときは、運搬業者を含めて施工体制台帳及び施工体系図を作成・保存しなければならない。 | 作業にあたって労働災害、公衆災害の事故リスクと対応方法について監督員と協議すること。既設配管等を破損させた場合の停電、断水等の影響範囲及び破損防止のための対策について関係者と協議すること。 事故により、停電、断水等が発生することを考慮し、施設休業日に作業するなど、作業日を施設管理者と協議すること。 ②給水管近傍の作業で給水管を破損する恐れがある場合は、給水バルブの止水状況を確認するとともに、事故による漏水に備えて直下階や近傍の重要備品について養生や移設について協議すること。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 11. 交通安全管理 | 輸送災害の防止 受注者は、工事用車両による土砂、工所用資材、機械等の輸送を伴う場合は、関係機関と打合せを行い、交通安全に関する担当者、輸送経路、輸送期間、輸送方法、輸送担当者、交通誘導員の配置、標識、安全施設等の設置場所その他安全輸送上の事項について計画を立て、災害の防止を図らなければならない。特に、輸送経路にある既設構造物に対して損害を与えるおそれがある場合は、当該物件およびその位置と必要な措置について工着手前に監督員に報告しなければならない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 12. 発生材の処理等 | 過積載による違法運行の防止 受注者は、過積載による違法運行の防止に関し、特に次の事項について留意し、下請負業者を指導すること。 ・積載重量制限を超えた土砂等の積込みは行わないこと ・さし枠装備車、不表示車は使用しないこと ・過積載車両、さし枠装備車、不表示車から土砂等の引き渡しを受けないこと ・建設発生土の処理及び骨材の購入に当たっては、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害さないこと ・過積載による違法通行により、逮捕または起訴された建設業者は、指名停止措置を講ずる場合がある | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 発生材の処理等は、次により適正に行う。 1) 工事による発生材のうち、文化財保護法に基づく物及び有価材と判断される物については、報告及び引き渡しを要する。 2) 上記以外の発生材は、建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律（以下「建設リサイクル法」という。）、資源の有効な利用の促進に関する法律（以下「資源有効利用促進法」という。）、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設副産物適正処理推進要綱その他関係法令等に従い処理すること。受注者は、工事で発生する産業廃棄物を保管する場合、または自ら運搬する場合等においては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の規定を遵守すること。図書に表示のないものについては、監督員に報告し指示を仰ぐこと。 3) 産業廃棄物の種類ごとの処分場については、各専門特記仕様書の1章一般共通事項「産業廃棄物の処理」又は「発生材の処理等」による。 4) 建設発生土の処理については、各専門特記仕様書の1章一般共通事項「建設発生土の処理」による。 5) 解体前に、照明器具、変圧器及び進相コンデンサのPCBの有無を調査し、有れば、監督員の指示に従うこと。 6) 空調機等の整備や撤去処分を行う場合は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律をはじめとする関係法令に基づき、作業や手続きを行う。家電リサイクル法に該当する機器については、家電リサイクル法により処理すること。 7) 受注者は、建設副産物が搬出される工事にあたっては、建設発生土は建設発生土搬出調書（様式3）、産業廃棄物は産業廃棄物管理票（マニフェスト）により、適正に処理されているか確認するとともに、監督員に建設発生土搬出調書を提出しなければならない。なお、監督員等の指示があった場合は直ちに産業廃棄物管理票の写しを提示しなければならない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | アスベスト 1) 解体前に大気汚染防止法に基づくアスベスト等の特定建築材料に該当するものが使用されていないか調査し、あれば監督員の指示に従うこと。既存の分析調査結果がある場合は、受注者がその結果を書類等により確認すること。なお、工事内容に変更がある場合においても同様とする。 既存の分析調査結果の貸与（あり・なし）。 2) 事前調査を公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）1.5.1及び大気汚染防止法により行うこと。 ・調査結果を石綿事前調査結果報告システムにより、労働基準監督署及び自治体に報告すること。監督員へも結果を提出するとともに、その写しを工事の現場に備置置くこと。 ・調査結果は3年間保存すること。 ・調査結果の概要を公衆が見やすい場所に掲示すること。 ・分析によりアスベスト含有調査を行う場合は、JIS A 1481-1によること。 3) 表示、掲示は次のとおり行うこと。 ・事前調査結果の概要を公衆が見やすい場所に掲示する。 ・「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ」を労働者及び周辺住民の見やすい場所に掲示する。 ・作業に従事する労働者への注意事項を見やすい場所に掲示する。 ・喫煙及び飲食の禁止並びに関係者以外の立入禁止について、作業場の見やすい箇所に掲示する。 建設リサイクル法通知済証の掲示 受注者は、建設リサイクル法に基づく対象建設工事（特定建設資材を用いた建築物に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が建設リサイクル法施行令で定める基準以上のもの）においては、工事現場の公衆の見やすい場所に工着手日までに「建設リサイクル法通知済証」を掲示し、工事しゅん工検査が終了するまで存置しておくしなければならない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | |
|--|-------------|---------------------------------------|----------|---|
| | | 工事名 R 6 営繕 鳴門高等学校 鳴・撫養 研修会館等改修工事建築 | 1 共-01 |  一般職工士 第152422号 岡山県 |
| | 徳島県土木整備部営繕課 | 図面名 営繕工事共通仕様書(1) | NO SCALE | |

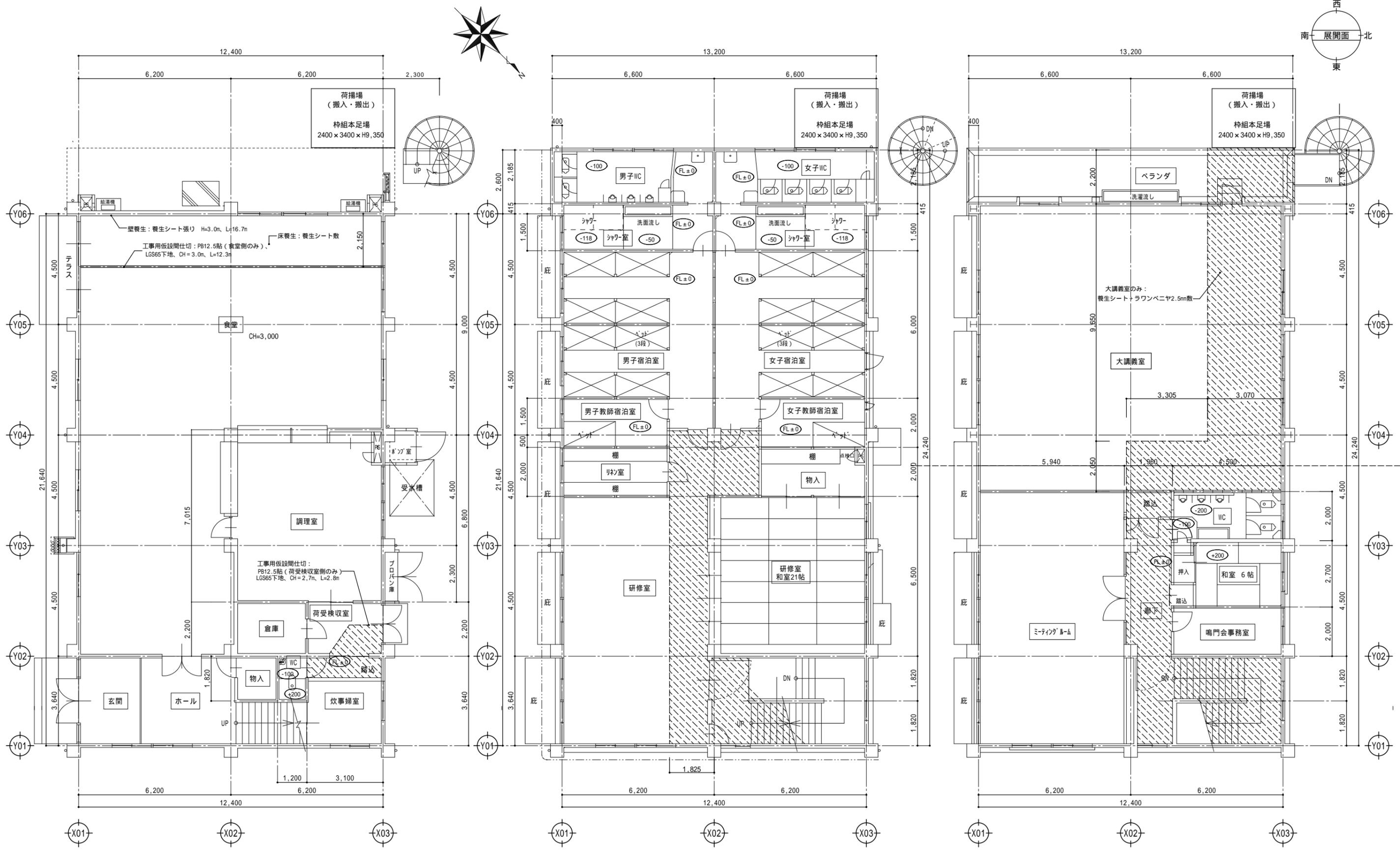
| 章 項目 | 特 記 事 項 | 章 項目 | 特 記 事 項 | 章 項目 | 特 記 事 項 | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|---|--|---|---------|-------|--------|---|----|--------------|---|----|-------------|----|----|-------|----|----|--|
| <p>資源有効利用促進法及び建設リサイクル法に基づく対応は、以下のとおり行うこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 受注者は、資源有効利用促進法に基づく建設業に属する事業を行う者の再生資源の利用に関する判断の基準となるべき事項を定める省令（H3.10.25建設省令第19号）第8条で規定される工事又は建設リサイクル法施行令第2条で規定される工事（以下「一定規模以上の工事」という。）において、コンクリート（二次製品を含む。）、土砂、砕石、加熱アスファルト混合物又は木材を工事現場に搬入する場合には、（一財）日本建設情報総合センターの建設副産物情報交換システム（以下「COBRIS」という。）により再生資源利用計画書を作成し、監督員に提出すること。 2) 受注者は、資源有効利用促進法に基づく建設業に属する事業を行う者の指定副産物に係るの促進に関する判断の基準となるべき事項を定める省令（H3.10.25建設省令第20号）第7条で規定される工事又は一定規模以上の工事において、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物を工事現場から搬出する場合には、COBRISにより再生資源利用促進計画書を作成し、監督員に提出すること。 3) 受注者は、上記計画書を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）すること。 4) 受注者は、上記計画書に変更が生じた場合は、速やかに計画を変更し、その変更の内容を監督員に報告すること。 5) 受注者は、工事完了後速やかにCOBRISにより再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を作成し、監督員に提出すること。 6) 受注者は、上記計画書及び実施書を工事完成後5年間保存すること。 7) 受注者は、COBRISの入力において、資源の供給元及び搬出する副産物の搬出先について、その施設名、施設の種類及び住所を必ず入力すること。ただし、パーズン材を使用する生コンクリート及び購入土を除くものとする。 <p>受領書の交付 受注者は、土砂を再生資源利用計画書に記載した搬入元から搬入したときは、法令等に基づき、速やかに受領書を搬入元に交付しなければならない。</p> <p>再生資源利用促進計画書を作成する上での確認事項等 受注者は、再生資源利用促進計画書の作成に当たり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、工事現場内の土地の掘削その他の形質の変更に関して発注者等が行った土壌汚染対策法等の手続き状況や、搬出先が盛土規制法の許可地等であるなど適正であることについて、法令等に基づき確認しなければならない。また、確認結果は再生資源利用促進計画書に添付し監督員に提出するとともに、工事現場において公衆の見やすい場所に掲げなければならない。</p> <p>建設発生土の運搬を行う者に対する通知 受注者は、建設現場等から土砂搬出を他の者に委託しようとするとき、特記に土工書の記載がある場合は「建設発生土の処理」に定められた事項等（搬出先の名称及び所在地、搬出量）と、前項で行った確認結果を、委託した搬出者に対して、法令等に基づいて通知しなければならない。</p> <p>建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求等 受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画書に記載した搬出先へ搬出したときは、法令等に基づき、速やかに搬出先の管理者に受領書の交付を求め、受領書に記載された事項が再生資源利用促進計画書に記載した内容と一致することを確認するとともに、監督員に写しを提出しなければならない。</p> <p>13. 材料・製品等 本工事に使用する建築材料、設備機材等（以下「建材等」という）は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとする。</p> <p>受注者は、建材等の発注の際には、発注前に、品質及び性能に関して記載された工種別施工計画書及びその証明となる資料を監督員へ提出しなければならない。ただし、設計図書に定めるJIS又はJASの材料で、JIS又はJASのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りでない。</p> <p>なお、各専門特記仕様書中、「評価名簿による」と記載されているものは、一般社団法人公共建築協会発行の「建築材料等評価名簿（最新版）」及び「設備機材等評価名簿（最新版）」記載品を指すものとする。</p> <p>県産木材の原則使用 1) 受注者は、工事目的物及び指定仮設で木材を使用する場合並びにコンクリート打設用型枠を使用する場合、原則として県産木材を使用しなければならない。ただし、特段の理由がある場合にはこの限りでない。</p> <p>2) 「県産木材」とは、「徳島県内の森林で育成した木材」のことであり、「徳島県内の森林で育成した木材」とは次のことである。 (a) 徳島県木材認証制度により、県内産であることが「産地認証」された木材 (b) (a)以外において、徳島県内の森林で育成したことが確認された木材</p> <p>3) 受注者は、請負代金額が500万円以上の工事について、県産木材以外の木材を使用する場合は、県産木材を使用できない理由を施工計画書に記載すると共に、確認資料を事前に監督員に提出し、承諾を得なければならない。</p> <p>4) 受注者は、県産木材を使用する前に、徳島県木材認証機構から発行される「産地認証証明書」の写しにより県産木材であることを示す書類を監督員へ提出しなければならない。</p> <p>5) 県内の森林から直接調達するなど、前項により難しい場合は木材調達先の産地及び相手の氏名等を記入した書類を監督員へ提出しなければならない。</p> <p>製材等（製材、集成材、合板、単板積層材）、フローリング、再生木質ボード（パーティクルボード、繊維板、木質系セメント板）については、合法性に係る確認（「産地認証」及び「品質認証」を含む。）が行われたものを使用する。ただし、機能上、需給上など正当な理由により確保が困難であり、使用できない場合には監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p> <p>また、それらの木質又は紙の原料となる原木についての合法性に係る確認は、林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン（平成18年2月15日）」に準拠して行うものとし、監督員に合法証明書を提出するものとする。ただし、平成18年4月1日より前に伐採業者が加工・流通業者等と契約を締結している原木に係る合法性の確認については、平成18年4月1日の時点で原料・製品等を保管している者が証明書に平成18年4月1日より前に契約を締結していることを記載した場合には、上記ガイドラインに定める合法な木材であることの証明は不要とする。</p> <p>標仕等に記載されていない特別な材料の仕様・工法は、監督員の承諾を受けて、当該製品の仕様及び指定工法による。</p> | <p>14. 化学物質を発散する建築材料等</p> <p>15. 施工</p> | <p>県内産資材の原則使用 1) 受注者は、木材以外の建設資材を使用する工事を施工する場合、原則として県内産資材を使用しなければならない。ただし、特段の理由がある場合はこの限りでない。 なお、WTO対象工事については、県内産資材を優先して使用するよう努めるものとする。</p> <p>2) 受注者は、木材以外の建設資材について、県内産資材であることの別を施工計画書に記載するものとする。また、請負代金額が500万円以上の工事について、県内産資材以外の資材を使用する場合は、県内産資材を使用できない理由を施工計画書に記載すると共に、確認資料を事前に監督員に提出し、承諾を得なければならない。</p> <div data-bbox="1291 310 1869 508" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>県内産資材（次のいずれかに該当するもの） (1) 材料の主な部分を県内産出の原材料を使用している製品 (2) 徳島県内の工場で加工、製造された製品 注 ・部材、部品が県外製品であっても、県内の工場で加工、製造した製品（二次製品）であれば県内産資材として取り扱う。 ・県内企業が県外に立地した工場（自社工場）で加工、製造した製品も県内産資材として取り扱う。 ・公共建築工事標準仕様書その他関連する示方書等の基準を満たす資材、製品であること。</p> </div> <p>県内企業調達建材等の優先使用 受注者は、徳島県内に主たる営業所を有する者から調達した建材等（以下、「県内企業調達建材等」という。）を優先して使用するよう努めなければならない。また、県内企業調達建材等の別を工種別施工計画書に記載するものとする。</p> <p>なお、県内企業調達建材等以外を使用する場合は、県内企業調達建材等を使用しない理由を工種別施工計画書に記載し、監督員の承諾を得なければならない。</p> <p>県内産再生砕石の原則使用 受注者は、再生砕石を使用する場合、県内の再資源化施設（廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）第15条第1項に基づく許可を有する施設（同法第15条の2の6第1項に基づく変更の許可において同じ。））で製造された再生砕石を原則として使用しなければならない。</p> <p>アスファルト舗装の材料 受注者は、加熱アスファルト混合物を使用するときは、原則として、「徳島県土木工用生アスファルト合材の品質審査要綱」に基づき工場認定を受けた県内の工場から出荷された合材を原則として使用しなければならない。</p> <p>本工事に使用する建築材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の から を満たすものとする。 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを発生しないが、発散が極めて少ないものとする。 保温材、緩衝材、断熱材は、ホルムアルデヒド及びスチレンを発生しないが、発散が極めて少ないものとする。 接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないが、発散が極めて少ないものとする。 塗料（塗り床を含む）は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないが、発散が極めて少ないものとする。 及び の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないが、発散が極めて少ないものとする。</p> <p>設計図書に疑義が生じたり、現場の納まり又は取合い等の関係で設計図書によることが困難又は不都合な場合が生じたときは、標仕記載の「疑義に対する協議等」による。</p> <p>工事現場に監督員は常駐できないので、疑問点、その他打合せ決定を要する事項は、監督員の出向した時、又は當備課へ問い合わせ、工事に遺漏のないようにすること。</p> <p>品質管理は、適切な時期に品質計画に基づき、確認、試験又は検査を行うこと。結果が管理値を外れるなど疑義が生じた場合は、品質計画にしたがって適切な処理を施すこと。また、その原因を検討し、再発防止のための必要な処置をとること。</p> <p>施工にあたっては、設計図書に従って忠実に施工すること。不都合な工法等を発見した場合は、工事が進行済みであっても根本的な手直しを命ずるので、注意して施工すること。手直し工事は、受注者の責任において実施し、それに要する費用は受注者の負担とする。</p> <p>本工事の施工及び管理にあたり法規上必要となる有資格者については、工事着手前に資格者名簿及びその証明書類等を監督員に提出すること。</p> <p>設計図書（各施工計画書を含む）に定められた工程が完了した時、報告書を提出し、監督員の検査等を受け、承諾を受けて次の工程に進むこと。</p> <p>試験等によらなければ確認できない工事（製品）については、試験等計画書（施工計画書に記載）を提出し、監督員の承諾を受け試験を行い、その結果を報告し承認を得ること。</p> | <p>16. 建設機械等</p> <p>排出ガス対策型建設機械 本工事に使用する土工機械は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3.10.8 建設省経機発第249号 最終改正 平成14.4.1国総施第225号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械とする。ただし、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、又はこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明により評価された排出ガス浄化装置を装着することで排出ガス対策型建設機械と同等とみなすが、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の全景及び型番等が分かる写真を監督員に提出するものとする。</p> <p>低騒音・低振動型建設機械 本工事で使用する建設機械は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程（国土交通省告示 平成13年4月9日改正）」に基づき指定された建設機械を使用するものとする。現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の全景及び型番等、同規程に基づき指定された建設機械であることが分かる写真を監督員に提出するものとする。ただし、同規程に記載されていない機種、規格の建設機械により施工する場合はこの限りでない。なお、同規程に基づき指定された建設機械を現場に供給するのが著しく困難な場合は、監督員と協議する。ただし、騒音規制法、徳島県公害防止条例等の関係法令を遵守するものとする。</p> <p>特定自主検査 本工事で使用する建設機械（労働安全衛生法により特定自主検査が義務づけられている建設機械）は、1年以内毎に1回特定自主検査を実施済みの機械を使用し、その検査証明書（検査記録表）の写しを使用工種の施工計画書に添付し提出すること。</p> <p>不正軽油の使用禁止 受注者は、ディーゼルエンジン仕様の車両及び建設機械等を使用する場合は、地方税法（昭和25年法律第226号）に違反する軽油等を燃料として使用してはならない。 また、受注者は、県の徴税吏員が行う使用燃料の採取調査に協力しなければならない。</p> <p>17. 遠隔臨場の試行 受注者は、当初請負対象金額（設計金額）が税込7千万円未満の場合において、遠隔臨場の実施を希望する場合は、「管轄工事の遠隔臨場に関する試行要領」に基づき遠隔臨場を実施することができる。</p> <p>18. 工事看板等 受注者は、当初請負対象金額（設計金額）が税込7千万円以上の場合において、「管轄工事の遠隔臨場に関する試行要領」に基づき遠隔臨場を実施しなければならない。</p> <p>工事現場には、工事看板を監督員の指示に従って見やすい場所に設けること。</p> <p>受注者は、本工事に於いて使用する工事看板・バリケード等については、県産木材を用いた木製品を優先して使用できるよう努めなければならない。県産木材を購入した場合、受注者は、工事完了後「任意仮設における県内産木材購入実績報告書」を監督員へ任意で提出すること。</p> <p>19. 仮設トイレ 受注者は仮設トイレを設置する場合、次のとおりとしなければならない。 ただし、特段の理由がある場合はこの限りではない。 当初請負対象金額（設計金額）3千万円未満の工事 原則として「洋式トイレ」を設置しなければならない。また、現場従事者に女性が含まれる場合は、原則として「女性専用トイレ（快適トイレ）」を設置しなければならない。 当初請負対象金額（設計金額）3千万円以上の工事 原則として「快適トイレ」を設置しなければならない。また、現場従事者に女性が含まれる場合は、原則として「女性専用トイレ（快適トイレ）」を設置しなければならない。 受注者は、仮設トイレを設置した場合、「仮設トイレ設置報告書」を監督員に提出しなければならない。 (注) 洋式トイレとは、和式トイレの便座部分を洋式化したトイレのこと。 (注) 快適トイレとは、洋式トイレのうち、防臭対策・施設強化などが実施された、女性が利用しやすい仮設トイレのこと。</p> <p>20. 設計変更箇所確認 設計事務所による工事監理がある場合、受注者は、工事監理業務受注者が作成する設計変更箇所一覧表の内容について、監督員、工事監理業務受注者とともに定期的に確認すること。また、工事しゅん工前には全ての設計変更箇所及び内容を監督員、工事監理業務受注者とともに、書面により確認すること。</p> <p>21. 工事検査及び技術検査 次表により中間検査の対象工事となった場合は、原則として次表の実施回数以上の中間検査を実施するものとする。ただし、工事検査員が認める場合は、一般入札工事に限り、これによらないことができる。</p> <table border="1" data-bbox="2190 1541 2778 1644"> <thead> <tr> <th>当初請負対象額</th> <th>一般入札工事</th> <th>低入札工事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3千万円未満</td> <td>-</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>3千万円以上5千万円未満</td> <td>-</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>5千万円以上1億円未満</td> <td>1回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>1億円以上</td> <td>2回</td> <td>3回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 低入札工事とは、低入札価格調査工事の調査基準価格を下回って落札した工事をいう。 (注) 一般入札工事とは、低入札工事以外の工事をいう。</p> <p>中間検査の実施時期は、当該工事の工程を考慮し施工上の重要な時点で行うものとし、契約締結後速やかに監督員と協議すること。</p> <p>中間検査が部分払検査と同時期になる場合は、中間検査を省略することができる。</p> <p>基礎杭工事を含む工事については、請負対象額にかかわらず、基礎杭工事完了後、中間検査を実施する。</p> <p>外壁改修工事等において、足場が撤去されしゅん工検査時に検査員による出来形等の現場確認ができなくなるおそれがある場合は、当初請負対象額に関係なく、中間検査の実施について監督員と協議すること。</p> | 当初請負対象額 | 一般入札工事 | 低入札工事 | 3千万円未満 | - | 1回 | 3千万円以上5千万円未満 | - | 2回 | 5千万円以上1億円未満 | 1回 | 2回 | 1億円以上 | 2回 | 3回 | <p>17. 遠隔臨場の試行</p> <p>18. 工事看板等</p> <p>19. 仮設トイレ</p> <p>20. 設計変更箇所確認</p> <p>21. 工事検査及び技術検査</p> |
| 当初請負対象額 | 一般入札工事 | 低入札工事 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3千万円未満 | - | 1回 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3千万円以上5千万円未満 | - | 2回 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5千万円以上1億円未満 | 1回 | 2回 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1億円以上 | 2回 | 3回 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | <p>工事名 R 6 當備 鳴門高等学校 鳴・撫養 研修会館等改修工事建築</p> <p>図面名</p> | <p>2 共-02</p> <p>NO SCALE</p> | <p>株式会社 平島弘之 + TEAM28 HIROYUKI HEIYAMA ARCHITECT & TEAM28 ASSOCIATES</p> <p>一般職工士 第 152422 号 岡山仁志</p> | | | | | | | | | | | | | | | |

| 章 | 項目 | 特記事項 | 章 | 項目 | 特記事項 | 章 | 項目 | 特記事項 | | | | | | | |
|--------------------------------------|---|--|-------------|---------------------------------------|----------|------------------|-----------------------|------------------|---------|------------------|--|--|--|--|--|
| 一 章 一 般 共 通 事 項 | 22. 完成図等 | <p>電子納品：対象</p> <p>受注者は、原則として「徳島県電子納品運用ガイドライン【建築工事編】」に基づいて調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品（以下「電子納品」という。）すること。</p> <p>提出書類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竣工図（製本3部、電子データ2部）（サイズ：監督員の指示による） ・工事写真（電子データ2部） ・使用材料一覧表（竣工図表紙裏面に貼付、電子データ2部） ・保全に関する資料 ・その他監督員が指示する図書（必要部数） <p>しゅん工図は関係図面（データ貸与）を修正して作成すること。</p> <p>しゅん工図データは、関係図面（データ貸与）を修正して作成し、PDF形式、SFC形式及びオリジナル形式をCD-R等に保存する。</p> <p>工事写真の電子データは完成写真、着事前、資機材、施工状況の順に整理する。</p> <p>完成写真については、工事目的物の状態が、資機材、施工状況等については、不可視部分の出来形が写真で的確に確認できること。</p> <p>工事写真の撮影は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領」によること。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>サ イ ズ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>着 手 前</td> <td>カラー、手札版又はサービスサイズ</td> </tr> <tr> <td>施 工 中</td> <td>カラー、手札版又はサービスサイズ</td> </tr> <tr> <td>完 成 写 真</td> <td>カラー、手札版又はサービスサイズ</td> </tr> </tbody> </table> <p>工事完成撮影は、別途指定がある場合を除き、専門家によらないものとする。</p> <p>既存埋設管等の状況について、現場と図面の相違が発覚した場合は竣工図に反映させること。</p> | 区 分 | サ イ ズ | 着 手 前 | カラー、手札版又はサービスサイズ | 施 工 中 | カラー、手札版又はサービスサイズ | 完 成 写 真 | カラー、手札版又はサービスサイズ | | | | | |
| | 区 分 | サ イ ズ | | | | | | | | | | | | | |
| | 着 手 前 | カラー、手札版又はサービスサイズ | | | | | | | | | | | | | |
| | 施 工 中 | カラー、手札版又はサービスサイズ | | | | | | | | | | | | | |
| 完 成 写 真 | カラー、手札版又はサービスサイズ | | | | | | | | | | | | | | |
| 23. デジタル工事写真の 小黒板情報電子化 | <p>受注者は、デジタル工事写真の小黒板情報電子化の実施を希望する場合は、監督員の承諾を得たうえで、デジタル工事写真の小黒板情報電子化対象工事（以下、「対象工事」という）とすることができる。</p> <p>対象工事は、徳島県CALS/ECホームページ掲載の「デジタル工事写真の小黒板情報電子化の運用について（県土整備部）」に記載された全ての内容を適用することとする。</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| 24. 火災保険 | <p>本工事の着手に際し、火災保険等（火災保険、建設工事保険その他の保険（これに準ずるものを含む。））を請負額に応じて付保する。（標準請負契約約款 第55条）</p> <p>対象物</p> <p>工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）について付保する。</p> <p>付保除外工事</p> <p>次に掲げる単独工事については、付保を除外できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杭及び基礎工事 ・コンクリート躯体工事 ・屋外付帯工事 ・その他実状を判断のうえ必要がないと認めた場合（外壁補修工事等） <p>付保する時期及び金額</p> <p>鉄筋コンクリート造の場合は躯体工事完了時に、木造及び鉄骨造の場合は基礎工事完了時に、請負金額相当額を付保する。また、模様替え工事等については、工事着手時に請負金額相当額を付保する。</p> <p>保険終期</p> <p>工事完成期日に14日を加えた期日とする。なお、工期延伸した場合には保険の期間も延長する。</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付保する時期以降に出来高払を行う場合は、受注者は保険契約の証券の写しを出来高払の書類に添付する。 ・建設工事保険に付保した場合は、火災保険に付保したものとみなす。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 25. 公共事業労務費調査 | <p>当初請負対象金額（設計金額）が税込1,000万円以上の工事において、公共事業労務費調査の対象工事となった場合は、受注者は、調査票等に必要事項を正確に記入し調査団体に提出する等、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。調査票等を提出した事業者を調査団体が事後に訪問して行う調査・指導の対象となった場合、受注者は、その実施に協力しなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。</p> <p>公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、受注者は、労働基準法等に従って就業規則を作成すると共に賃金台帳を調製・保存する等日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかななければならない。</p> <p>受注者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には受注者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請人を含む）が前述と同様の義務を負う旨を定めなければならない。</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| 26. 暴力団からの不当要求 又は工事妨害の排除 | <p>受注者は、工事の施工に関し、暴力団等からの不当要求又は工事妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合（（2）に規定する場合は、下請負人から報告があったとき）には、その旨を直ちに発注者に報告するとともに、併せて所轄の警察署に届け出なければならない。</p> <p>受注者は、本工事の一部を下請に付する場合、下請工事の施工に関して下請負人が暴力団等からの不当介入を受けたときは、受注者にその旨を報告することを義務付けなければならない。</p> <p>受注者は、発注者及び所轄の警察署と協力して不当介入の排除対策を講じなければならない。</p> <p>受注者は、排除対策を講じたにもかかわらず、工期に遅れが生じるおそれがある場合には、発注者と工程に関する協議を行い、その結果、下請工事内に工事が完成しないと認められる場合は、「徳島県公共工事標準請負約款」（以下「約款」という。）第22条の規定により、発注者に工期延長の請求を行わなければならない。</p> <p>受注者は、暴力団等から不当介入による被害を受けた場合は、その旨を直ちに報告し、被害届を速やかに所轄の警察署に提出しなければならない。</p> <p>受注者は、前項被害により、工期に遅れが生じるおそれがある場合は、発注者と工程に関する協議を行い、その結果、工期に遅れが生じると認められた場合は、約款第22条の規定により、発注者に工期延長の請求を行わなければならない。</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 徳島県県土整備部営繕課 | 工事名 R 6 営繕 鳴門高等学校 鳴・撫養 研修会館等改修工事建築 | 3 共-03 | | | | | | | | | | |
| | | | | 図面名 営繕工事共通仕様書(3) | NO SCALE | | 一般職工士 第 152422 号 岡山仁志 | | | | | | | | |

| 改修工事特記仕様書 | | 項目 | | 特記事項 | | 項目 | | 特記事項 | | 項目 | | 特記事項 | | | |
|---|--|--|--|--|--|---|--|---|--|---|--|---|--|---|--|
| 1章 改修一般共通事項 | | 1. 施工条件 | | <p>施工条件は次による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工程については、施設管理者と協議の上決定すること。 ・施設の使用に影響のある、騒音、振動、粉塵等を伴う作業は平日の授業中は原則施工できない。また、休日においても施設管理者より作業中止の要望がある場合は、作業の中止を行う場合がある。 ・その他の詳細な施工条件については、実施工程表及び総合施工計画書の作成時に施設管理者と協議の上決定し、適宜相互に日程の調整及び確認を行う。 ・祈り工事以外の騒音を伴わない工事については、平日の授業中に行ってもよいものとする。 ・上記以外の工事については、土曜日の午後及び日曜祭日に行うものとする。 ・工事はゾーン毎に分割して実施し、関係するゾーン以外の便所の使用を制限しないこと。 ・工事の施工に当たっては仮囲いを設置し、一般交通等に支障を及ぼさないように充分注意し施工するものとする。 ・工事用の資機材の搬入及び搬出は生徒等の出入りの無い時間帯を選び最寄りの階段より短時間にて行うこと。 | | 7. 他工事との取り合い | | 他工事との取り合い区分 | | 2章 改修仮設工事 | | 1. 一般事項 | | 着工に先立ち、敷地境界、既存構造物、敷地の高低差、地下埋設物の確認、近隣建築物及び工作物の現状確認、排水経路及び配水管の流末処理の確認並びに敷地周辺の状況を確認し、監督員に報告すること。 | |
| 2. 重要備品等 | | 3. 施工調査 | | 4. 交通誘導警備員 | | 8. 室内空気中の化学物質の濃度測定 | | 測定は、測定対象室の工事施工前及び工事施工後に行うこと。建物の用途により以下の物質の室内濃度を測定すること。 | | 2. ベンチマ・ク | | 設計GLの設定は、BM(1FFL) を±0とし、NGLはBM- (400) mmとする。ただし、監督員の指示により決定する。 | | | |
| 3. 施工調査 | | 4. 交通誘導警備員 | | 5. 産業廃棄物の処理 | | 9. 技能士の適用 | | 測定は、次のいずれかにより行う。 | | 3. 足場等 | | 仮設機材及び経年仮設機材の使用については、次の規格又は認定基準（以下「規格等」という。）に適合するものを使用すること。 | | | |
| 種 類 | | 処分許可業者の会社名(処分区分) | | 優 良 | | 所 在 地 処 分 地 | | 運搬距離 (km) | | 処分費 (税抜、円) | | 単 位 | | | |
| コンクリート (無筋) | | (有)川上組砕石 (中間処分) | | | | 徳島市下町本丁92-1 鳴門市瀬戸町明神字中山38-1 | | 4.9 | | 640 7000円/11t車 | | t | | | |
| コンクリート (有筋) | | (有)川上組砕石 (中間処分) | | | | 徳島市下町本丁92-1 鳴門市瀬戸町明神字中山38-1 | | 4.9 | | 640 7000円/11t車 | | t | | | |
| アスファルト | | (有)川上組砕石 (中間処分) | | | | 徳島市下町本丁92-1 鳴門市瀬戸町明神字中山38-1 | | 4.9 | | 1,000 11000円/11t車 | | t | | | |
| 金属(処分) | | (株)旭金属 | | | | 徳島市東沖洲1丁目12 徳島市東沖洲1丁目12 | | 18.0 | | 0 | | t | | | |
| ガラス | | (財)徳島県環境整備公社 (徳島東部) | | | | 板野郡松茂町豊久字朝日野6番地先 板野郡松茂町豊久字朝日野6番地先 | | 8.9 | | 5,640 | | t | | | |
| 木材 | | (有)徳島興産 | | | | 徳島市津田海岸町2番90号 徳島市津田海岸町2番90号 | | 20.2 | | 10,000 | | t | | | |
| 廃プラ | | (財)徳島県環境整備公社 (徳島東部) | | | | 板野郡松茂町豊久字朝日野6番地先 板野郡松茂町豊久字朝日野6番地先 | | 8.9 | | 35,000 | | t | | | |
| 石膏ボード | | (有)山一建設 | | | | 阿波市市場町香美字西原284-1 阿波市市場町香美字西原284-1 | | 37.2 | | 15,000 | | t | | | |
| がれき類 | | (財)徳島県環境整備公社 (徳島東部) | | | | 板野郡松茂町豊久字朝日野6番地先 板野郡松茂町豊久字朝日野6番地先 | | 8.9 | | 5,640 | | t | | | |
| 廃石綿等 | | (株)明和クリーン | | | | 三好市山城町寺野字大休場956 三好市山城町寺野字大休場956 | | 96.7 | | 60,000 | | m3 | | | |
| 繊維くず(豊・鹿刈・葛根等) | | (株)明和クリーン | | | | 三好市山城町寺野字大休場956 三好市山城町寺野字大休場956 | | 96.7 | | 15,000 | | m3 | | | |
| AS ^レ 含有成形板等 | | (株)明和クリーン | | | | 三好市山城町寺野字大休場956 三好市山城町寺野字大休場956 | | 96.7 | | 36,000 | | m3 | | | |
| 混合廃棄物(AS ^レ 含有成形板等)有価材 | | (株)明和クリーン | | | | 三好市山城町寺野字大休場956 三好市山城町寺野字大休場956 | | 96.7 | | 36,000 | | m3 | | | |
| 6. 建設発生土の処理 | | 建設発生土の処理については、「 章 土工事」に記載している。なお、場外搬出が指定されている場合において、指定された処分場以外で処分する場合は監督員の承諾を得ること。なお、増額変更の対象とはしない。 | | 鉄骨・軽量鉄骨、サッシスチール、サッシアルミ | | | | | | | | | | | |
| 上記以外の許可業者の処分場で処分しても差し支えないが、増額変更の対象とはしない。また、この場合、処分単価の見積書を求め、減額変更を行うことがある。なお、上記の処分場が徳島県優良産業廃棄物処理業者（以下、「優良産業処分業者」という。）に認定されているとき、処分場を変更する場合は原則として優良産業処分業者に変更すること。ただし、諸般の事情により優良産業処分業者以外の処分場で処分を行う場合は、理由書を監督員に提出すること。また、コンクリート・アスファルト類の搬出先については、中間処理施設のみとする。木材については、50kmの範囲内にある木材再資源化施設への搬出を原則とする。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 測定は、次のいずれかにより行う。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・住宅の品質確保の促進等に関する法律に基づく評価方法基準（平成13年 国土交通省告示第1347号）第56-3(3)「口 測定の方法」において定められた方法 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・パッシブ型採取機器を用いる方法 | | | | | | | | | | | | | | | |
| パッシブ型採取機器を用いる場合は、次の要領により行う。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| (1)30分間換気 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 測定対象室のすべての窓及び扉（造り付け家具、押入等の収納部分の扉を含む）を開放し、30分間換気する。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| (2)5時間閉鎖 | | | | | | | | | | | | | | | |
| (1)の後、測定対象室の全ての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押入等の収納部分は開放したままとする。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| (3)測定 | | | | | | | | | | | | | | | |
| イ(2)の状態のまま測定する。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| なお、8時間測定の場合は午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう、10時30分～18時30分までの時間帯で測定する。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| (1)、(2)、(3)において、換気設備又は空気調和設備は稼働させたままとする。ただし、局所的な換気扇等で常時稼働させないものは停止させたままとする。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| (4)分析 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取器を分析機関に送付し、濃度を分析する。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| (5)測定結果の提出 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 測定後、測定結果を監督員に提出すること。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 測定結果が厚生労働省の指針値を超えていた場合は、現場監督員と対応方法について協議すること。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 技能士の適用については、次の技能検定作業（以下、「作業」という。）のうち各工事毎に適用する作業を指定するものとする。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 技能士は、職業能力開発促進法による一級技能士又は二級技能士の資格を有する者とし、資格を証明する資料を監督員に提出すること。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするものとする。他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。技能士は、氏名、検定職種、技能士番号等票が指定した内容を記載した名札等により、資格を明示するものとする。なお、指定のない作業についてもその活用を図るよう努めることとする。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 印・・・適用作業 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 工事種目 | | 技能検定職種 | | 技 能 検 定 作 業 | | | | | | | | | | | |
| 仮設 | | とび | | ・ とび作業 | | | | | | | | | | | |
| 鉄筋 | | 鉄筋施工 | | ・ 鉄筋組立て作業 | | | | | | | | | | | |
| コンクリート | | コンクリート圧送施工 | | ・ コンクリート圧送工事作業 | | | | | | | | | | | |
| 型枠 | | 型枠施工 | | ・ 型枠工事作業 | | | | | | | | | | | |
| 鉄骨 | | 鉄工 | | ・ 構造物鉄工作業 | | | | | | | | | | | |
| 防水 | | 防水施工 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ アスファルト防水工事作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業 ・ 改質アスファルト工法防水工事作業 ・ FRP防水工事作業 | | | | | | | | | | | |
| タイル | | タイル張り | | ・ タイル張り作業 | | | | | | | | | | | |
| 木 | | 建築大工 | | ・ 大工工事作業 | | | | | | | | | | | |
| 屋根及びとい | | 建築板金 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 内外装板金作業 ・ がわらぶき作業 | | | | | | | | | | | |
| 金属 | | 建築板金 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 内外装板金作業 | | | | | | | | | | | |
| 左官 | | 左官 | | ・ 左官作業 | | | | | | | | | | | |
| 2章 改修仮設工事 | | 1. 一般事項 | | 2. ベンチマ・ク | | 3. 足場等 | | 労働安全衛生法第88条に基づき、労働安全衛生規則別表第7に掲げる機械等（組立から解体までの期間が60日未満を除く）の設置や移転、変更を行う場合は、30日までに所轄労働基準監督署長に届け出をおこなうこと。届け出をおこなった場合は、監督員に報告すること。届け出不要の場合は、その旨監督員に報告すること。 | | 労働安全衛生法第88条に基づき、労働安全衛生規則別表第7に掲げる機械等（組立から解体までの期間が60日未満を除く）の設置や移転、変更を行う場合は、30日までに所轄労働基準監督署長に届け出をおこなうこと。届け出をおこなった場合は、監督員に報告すること。届け出不要の場合は、その旨監督員に報告すること。 | | 労働安全衛生法第88条に基づき、労働安全衛生規則別表第7に掲げる機械等（組立から解体までの期間が60日未満を除く）の設置や移転、変更を行う場合は、30日までに所轄労働基準監督署長に届け出をおこなうこと。届け出をおこなった場合は、監督員に報告すること。届け出不要の場合は、その旨監督員に報告すること。 | | | |
| 外部足場（種類：枠組本足場、仕様：2枚布、D=120cm、シ・ト仕様：防炎 類）、 | | 2.4m×3.4m×H=9.35mを荷揚場用として設置。 | | ・ 壁つなぎ間隔（水平方向： 8m以下、鉛直方向： 9m以下） | | ・ 足場を設置する場合は、原則として「手すり先行工法に関するガイドライン」（仕様2.2.4）の別紙1「手すり先行工法による足場の組み立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式により行うこと。ただし監督員の承諾を得た場合は、(3)手すり先行専用足場方式により行うことができる。 | | 内部足場（種類：脚立足場） | | 仮囲い（仕様：仮囲い：成形鋼板 H=2.0×延長25.0m）（図示） | | ゲート（有・無、仕様：キャスターゲート W=6.0×H=1.8）（図示） | | | |
| 足場等の設置業者は、関連工事等の関係者に無償で使用させること。また、安全管理も実施すること。 | | 足場等を無償使用する業者は、設置業者の指示に従うこと。 | | 受注者は、つり足場（ゴンドラのつり足場を除く。）、張出し足場又は高さ5メートル以上の構造の足場の組立て、解体又は変更の作業において、材料、器具、工具等を用い、又はあるときは、つり綱、つり袋等を労働者に使用させなければならない。また、作業主任者を選任し、その氏名、職階を掲示すること。 | | 石綿含有仕上塗材が施工された外壁に対する足場組み用アンカーの下穴穿孔作業については、「石綿等の切断等の作業」及び「石綿取り扱作業」に該当するため、石綿障害予防規則（平成17年厚生労働省令第21号）を遵守し作業を行うこと。 | | その他 | | 既存部分の養生範囲は図示による。（養生方法：養生シート防炎 類、ラワン合板2.5mm） | | 既存部分の家具等の養生範囲は図示による。（養生方法：） | | | |
| 仮囲い切りは設けないが、各便所入口にバリケードを設け作業中の旨を表示すること。 | | 監督員事務所は（設ける（面積 m2程度）・設けない） | | 既存電力利用（出来る・出来ない）、電力料金（有償・無償） | | ただし、施設管理者と協議すること。 | | 既存水利用（出来る・出来ない）、水料金（有償・無償） | | ただし、施設管理者と協議すること。 | | 同用地は、（図示の場所に・用意していないので業者にて）設けること。ただし、施設管理者と協議すること。 | | | |
| 9. 工事車両駐車場 資材置場 現場事務所用地等 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 徳島県県土整備部営繕課 | | 工事名 | | R 6 営繕 鳴門高等学校 鳴・撫養 研修会館等改修工事建築 | | 図面名 | | 建築改修工事特記仕様書(1) | | 4 改特-01 | | 株式会社 平島弘之 + TEAM28 HIROYUKI HEIISHIMA ARCHITECT & TEAM28 ASSOCIATES | | | |
| | | | | | | | | | | NO SCALE | | 一般職工士 第 152422 号 熊山仁志 | | | |

| 章 | 項目 | 特記事項 | 章 | 項目 | 特記事項 | 章 | 項目 | 特記事項 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|-----------------------------|--|--------------------------|--|---|---|------------------|-------------------|-------------------------|-------|--------|----------------|--------|-------------|---------------|---------|------------------|------------------|---------------------------|---|------------------|----------------------|--------------------|---------------------|------------------|---------------------|-------------------------|----------------|---------------------|--|--------------|-----------------------------|-------------|--|--------|-----|--------|----|-----|------------|-------|-----|-----|--------|---------|--|--|------|----|---------|--------|----------|----|----|--------|------|--------------|----|--|
| 3 | 3章 建具改修工事 | | 3 | 3. 木工事 | <p>木材、合板等は、品質、含水率、出荷量等を記録した出荷証明書を監督員に提出する。含水率は(Ⓐ・B)種とする。</p> <p>木材の品質 ・保存処理木材は、日本農林規格に規定する保存処理の性能区分のうち、K2からK4までの保存処理（JIS K 1570）（木材保存剤）に規定する木材保存剤（ただし、クレオソート油は有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律（昭和48年法律第112号）に適合したものとす。）、これと同等の薬剤を用いたK2からK4までの薬剤の濃度及び吸収量を確保する工場処理その他これと同等の性能を有する処理を含む。）が施されているもの又は認証木材建材（AQマーク表示）として認定された保存処理材を使用するものとする。</p> <p>・樹種及び等級</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法</th> <th>材料の等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">下 地 材</td> <td>天井</td> <td rowspan="3">杉</td> <td>40×40</td> <td rowspan="3">2級</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">A種</td> <td rowspan="3">徳島県産木材</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">壁</td> <td>18×45</td> </tr> <tr> <td>18×75</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">造 作 材</td> <td rowspan="4">建具枠</td> <td rowspan="4">桧</td> <td>40×80</td> <td rowspan="4">上小節</td> <td rowspan="4"></td> <td rowspan="4">A種</td> <td rowspan="4">徳島県産木材</td> </tr> <tr> <td>25×60</td> </tr> <tr> <td>40×65</td> </tr> <tr> <td>40×135</td> </tr> <tr> <td>壁見切</td> <td>40×192</td> </tr> <tr> <td></td> <td>壁見切</td> <td></td> <td>40×21</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | | 施工箇所 | 樹種 | 寸法 | 材料の等級 | 形状 | 含水率 | 備考 | 下 地 材 | 天井 | 杉 | 40×40 | 2級 | | A種 | 徳島県産木材 | 壁 | 18×45 | 18×75 | 造 作 材 | 建具枠 | 桧 | 40×80 | 上小節 | | A種 | 徳島県産木材 | 25×60 | 40×65 | 40×135 | 壁見切 | 40×192 | | 壁見切 | | 40×21 | | | | | 11. 壁紙張り JIS A 6921 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>防火性能の級別</th> <th>素地ごしらえ</th> <th>不燃材料等の区分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天井</td> <td>プラスチック</td> <td>防火1級</td> <td>改標仕6.7.2 R8種</td> <td>不燃</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ホルムアルデヒドの放散量は、F とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F の壁紙を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p> | 施工箇所 | 種類 | 防火性能の級別 | 素地ごしらえ | 不燃材料等の区分 | 備考 | 天井 | プラスチック | 防火1級 | 改標仕6.7.2 R8種 | 不燃 | |
| | 施工箇所 | 樹種 | 寸法 | 材料の等級 | 形状 | 含水率 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 下 地 材 | 天井 | 杉 | 40×40 | 2級 | | A種 | 徳島県産木材 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 壁 | | 18×45 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 18×75 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 造 作 材 | 建具枠 | 桧 | 40×80 | 上小節 | | A種 | 徳島県産木材 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 25×60 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 40×65 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 40×135 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 壁見切 | 40×192 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 壁見切 | | 40×21 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施工箇所 | 種類 | 防火性能の級別 | 素地ごしらえ | 不燃材料等の区分 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 天井 | プラスチック | 防火1級 | 改標仕6.7.2 R8種 | 不燃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. | 2. 改修工法等 | <p>施工に先立ち、改修範囲を確認し、設計図書との相違等があれば、監督員と協議すること。</p> <p>建具の撤去範囲・新設建具の種類等は図示による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>かぶせ工法</th> <th>撤去工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>撤去の範囲</td> <td></td> <td>建具及び枠</td> </tr> <tr> <td>既製建具の種類</td> <td></td> <td>木製建具</td> </tr> <tr> <td>新設建具の種類</td> <td></td> <td>木製建具</td> </tr> <tr> <td>建具周囲の補修工法及び範囲</td> <td></td> <td>建具周囲の張替、塗替及び取合補修</td> </tr> <tr> <td>シーリングの種類</td> <td></td> <td>MS-2</td> </tr> <tr> <td>サッシアンカー</td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>養生範囲</td> <td></td> <td>図示による</td> </tr> </tbody> </table> | 区分 | かぶせ工法 | 撤去工法 | 撤去の範囲 | | 建具及び枠 | 既製建具の種類 | | 木製建具 | 新設建具の種類 | | 木製建具 | 建具周囲の補修工法及び範囲 | | 建具周囲の張替、塗替及び取合補修 | シーリングの種類 | | MS-2 | サッシアンカー | | - | 養生範囲 | | 図示による | 4. 製材 | | 12. 樹脂モルタル塗り | <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>仕上げの種類</th> <th>目地の材質</th> <th>防水の有無</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>壁</td> <td>金コテ</td> <td></td> <td></td> <td>メラミン化粧板貼下地</td> </tr> </tbody> </table> <p>既設トイレ上壁モルタル下地E P塗面の下地処理は樹脂モルタル塗りとし、腰壁タイル貼面にスリ合わせとする。</p> <p>既存のタイル面とのすり合わせ厚みは5mm～15mm程度と異なっているが、現場に合わせて塗り重ねを行うこと。</p> | 施工箇所 | 仕上げの種類 | 目地の材質 | 防水の有無 | 備考 | 壁 | 金コテ | | | メラミン化粧板貼下地 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 区分 | かぶせ工法 | 撤去工法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 撤去の範囲 | | 建具及び枠 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 既製建具の種類 | | 木製建具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 新設建具の種類 | | 木製建具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建具周囲の補修工法及び範囲 | | 建具周囲の張替、塗替及び取合補修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| シーリングの種類 | | MS-2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| サッシアンカー | | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 養生範囲 | | 図示による | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施工箇所 | 仕上げの種類 | 目地の材質 | 防水の有無 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 壁 | 金コテ | | | メラミン化粧板貼下地 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. | 3. 木製建具 | <p>建具材の含水率の種別は、(A・B)種とする。</p> <p>見込み寸法は、(36、25)mmとする。</p> <p>フラッシュ戸の表面材の種類(普通合板・天然木化粧合板・特殊加工化粧合板・MDF・メラミン化粧板)。 MDFを使用する場合の品質()。</p> <p>フラッシュ戸の表面材の品質について、ホルムアルデヒドの放散量は、F とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F のフラッシュ戸を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。 その他は、改標仕5.7.2(2)による。</p> <p>表面板の厚さは、(2.4)mmとする。</p> <p>建物内部の木製建具に使用するホルムアルデヒド水溶液を用いた造作用、壁紙施工用及び建具用でん粉系接着剤のホルムアルデヒドの放散量は、F とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F のでん粉系接着剤を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p> | 5. 床張り用合板等 | <p>ホルムアルデヒドの放散量は、F とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F の普通合板等を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p> <p>普通合板</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床</td> <td></td> <td>12</td> <td>ラワン</td> <td>類</td> <td>生地のまま</td> <td></td> <td>床下地調製床</td> </tr> </tbody> </table> <p>構造用合板</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>等級</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>保存処理</th> <th>有効断面係数比</th> <th>防虫処理</th> <th>強度等級</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床</td> <td></td> <td>15</td> <td>2級</td> <td>ラワン</td> <td>類</td> <td>B-C</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>床下地調製床</td> </tr> </tbody> </table> | 施工箇所 | 品名 | 厚さ(mm) | 単板の樹種名 | 接着の程度 | 板面の品質 | 防虫処理 | 備考 | 床 | | 12 | ラワン | 類 | 生地のまま | | 床下地調製床 | 施工箇所 | 品名 | 厚さ(mm) | 等級 | 単板の樹種名 | 接着の程度 | 板面の品質 | 保存処理 | 有効断面係数比 | 防虫処理 | 強度等級 | 備考 | 床 | | 15 | 2級 | ラワン | 類 | B-C | | | | | 床下地調製床 | 13. 接着剤 | <p>壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等(ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤)を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量はF とする。ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量がF の接着剤を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p> | | | | | | | | | | | | | |
| 施工箇所 | 品名 | 厚さ(mm) | 単板の樹種名 | 接着の程度 | 板面の品質 | 防虫処理 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 床 | | 12 | ラワン | 類 | 生地のまま | | 床下地調製床 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施工箇所 | 品名 | 厚さ(mm) | 等級 | 単板の樹種名 | 接着の程度 | 板面の品質 | 保存処理 | 有効断面係数比 | 防虫処理 | 強度等級 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 床 | | 15 | 2級 | ラワン | 類 | B-C | | | | | 床下地調製床 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. | 4. 建具用金物 | <p>金物の種類及び見え掛り部の材質は、改標仕表5.8.1による。</p> <p>既製又はこれに準ずる建具の建具金物は、建具製作所の仕様による。</p> <p>木製建具に使用する丁番は改標仕表5.8.4による。</p> <p>握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセント等の取付け位置は図示による。</p> | 6. 諸金物等 | <p>下地材及び造作材の釘は、JIS A 5508の規格品とする。</p> <p>継手、仕口、取付け方法等は図示により、図示のもの以外は標仕によるが、補助として日本建築学会建築工事標準仕様書を適用する。</p> <p>製材等(製材、集成材、合板、単板積層材)、フローリング、再生木質ボード(パーティクルボード、繊維板、木質系セメント板)については、合法性に係る確認(「産地認証」及び「品質認証」を含む。)が行われたものを使用する。ただし、機能上、需給上など正当な理由により確保が困難であり、使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。 また、それらの木質又は紙の原料となる原木についての合法性に係る確認は、林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン(平成18.2.15)」に準拠して行うものとし、監督員に合法証明書を提出するものとする。 ただし、平成18年4月1日より前に伐採業者が加工・流通業者等と契約を締結している原木に係る合法性の確認については、平成18年4月1日の時点で原料・製品等を保管している者が証明書に平成18年4月1日より前に契約を締結していることを記載した場合には、上記ガイドラインに定める合法な木材であることの証明は不要とする。</p> | 14. セメントモルタルによるタイル張り | <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状/寸法(mm)</th> <th>吸水率による区分</th> <th>つわくすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>再生材の</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐清り性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>部室便所床</td> <td>磁器質タイル 50角</td> <td></td> <td></td> <td>有</td> <td>無</td> <td>標準</td> <td>特注</td> <td>適用</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>タイルの製造所：原則、評価名簿による。評価名簿によらない場合は監督員の承諾を得ること。</p> <p>試験張りを(行う・行わない)。</p> <p>既製調合モルタルの製造所：評価名簿による。</p> <p>保水材の混入量は、実績等の資料を提出したうえで、監督員の承認を得ること。</p> | 施工箇所 | 形状/寸法(mm) | 吸水率による区分 | つわくすり | 役物 | 色 | 再生材の | 耐凍害性 | 耐清り性 | 備考 | 部室便所床 | 磁器質タイル 50角 | | | 有 | 無 | 標準 | 特注 | 適用 | 無 | 有 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施工箇所 | 形状/寸法(mm) | 吸水率による区分 | つわくすり | 役物 | 色 | 再生材の | 耐凍害性 | 耐清り性 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 部室便所床 | 磁器質タイル 50角 | | | 有 | 無 | 標準 | 特注 | 適用 | 無 | 有 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. | 4. 自閉式上吊引戸装置 | <p>設置場所：建具表による。</p> <p>引き戸装置の性能は、採用製造所の仕様による。</p> <p>製造所：評価名簿による。</p> | 7. 鋼製床下地 | <p>一般用H=100～250程度</p> <p>材料：溶融亜鉛メッキ鋼(シングル根太、埋込式)とし、採用製造所の仕様による。</p> | 15. 有機系接着剤によるタイル張り | <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状/寸法(mm)</th> <th>吸水率による区分</th> <th>つわくすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>再生材の</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐清り性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>部室便所壁</td> <td>陶器質タイル 100角</td> <td></td> <td></td> <td>有</td> <td>無</td> <td>標準</td> <td>特注</td> <td>適用</td> <td>無</td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>タイルの製造所：原則、評価名簿による。評価名簿によらない場合は監督員の承諾を得ること。</p> <p>試験張りを(行う・行わない)。</p> <p>目地詰めを(行う・行わない)。</p> <p>有機質接着剤 ユリア樹脂等(ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤)を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量は、F とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F の接着剤を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p> <p>引張接着試験を(行う・行わない)</p> | 施工箇所 | 形状/寸法(mm) | 吸水率による区分 | つわくすり | 役物 | 色 | 再生材の | 耐凍害性 | 耐清り性 | 備考 | 部室便所壁 | 陶器質タイル 100角 | | | 有 | 無 | 標準 | 特注 | 適用 | 無 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施工箇所 | 形状/寸法(mm) | 吸水率による区分 | つわくすり | 役物 | 色 | 再生材の | 耐凍害性 | 耐清り性 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 部室便所壁 | 陶器質タイル 100角 | | | 有 | 無 | 標準 | 特注 | 適用 | 無 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. | 5. アクリル樹脂板 | <p>アクリル樹脂板のシーリング材は樹脂用シリコンとする。</p> | 8. 軽量鉄骨壁下地 | <p>JIS A 6517の規格品とする。</p> <p>スタッド、ランナ等の種類は、(65、90型)とし、改標仕表6.7.1による。</p> | 16. トイレブース | <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">表面材の種類</th> <th colspan="2">脚部</th> <th colspan="2">ドアエッジ</th> </tr> <tr> <th>形状</th> <th>材質</th> <th>形状</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メラミン樹脂系</td> <td>幅木タイプ</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>部室トイレ改修(メラミン樹脂系)</td> <td>(幅木タイプ)</td> <td>(召し合わせ(R加工))</td> <td>(7Rタイプ)</td> <td>(7Rタイプ)</td> </tr> </tbody> </table> <p>製造所：評価名簿による。</p> <p>非常時外開機能付きとする。</p> <p>トイレブースのパネルの材料のホルムアルデヒド放散量はF とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量がF のトイレブースのパネルを使用できない場合は、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p> <p>部室トイレ改修は、改修部分扉の内開きを外開きに改修、及び取合い補修するものとする。</p> <p>材質：アクリル樹脂(乳白)5mm、仕上：シルク印刷、寸法：180×80×5mm、色：男黒色、女赤色</p> | 表面材の種類 | 脚部 | | ドアエッジ | | 形状 | 材質 | 形状 | 材質 | メラミン樹脂系 | 幅木タイプ | - | - | - | 部室トイレ改修(メラミン樹脂系) | (幅木タイプ) | (召し合わせ(R加工)) | (7Rタイプ) | (7Rタイプ) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 表面材の種類 | 脚部 | | ドアエッジ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 形状 | 材質 | 形状 | 材質 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| メラミン樹脂系 | 幅木タイプ | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 部室トイレ改修(メラミン樹脂系) | (幅木タイプ) | (召し合わせ(R加工)) | (7Rタイプ) | (7Rタイプ) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. | 4章 内装改修工事 | | 9. ビニル床シート張り(JIS A 5705) | <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材質</th> <th rowspan="2">種類・種類</th> <th rowspan="2">色柄</th> <th rowspan="2">厚さ</th> <th colspan="3">幅木</th> <th rowspan="2">接着剤</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ</th> <th>高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビニル床シート</td> <td>織布積層ビニル床シートFS</td> <td>標準色</td> <td>2.5</td> <td>軟質</td> <td>1.5</td> <td>60</td> <td>改標仕表 6.8.1による</td> <td>図示</td> <td>下地：モルタル 下地：ラワン合板・鋼製床</td> </tr> </tbody> </table> | 材質 | 種類・種類 | 色柄 | 厚さ | 幅木 | | | 接着剤 | 施工箇所 | 備考 | 材質 | 厚さ | 高さ | ビニル床シート | 織布積層ビニル床シートFS | 標準色 | 2.5 | 軟質 | 1.5 | 60 | 改標仕表 6.8.1による | 図示 | 下地：モルタル 下地：ラワン合板・鋼製床 | 17. ビクトサイン | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 材質 | 種類・種類 | 色柄 | 厚さ | 幅木 | | | | | 接着剤 | 施工箇所 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 材質 | 厚さ | 高さ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ビニル床シート | 織布積層ビニル床シートFS | 標準色 | 2.5 | 軟質 | 1.5 | 60 | 改標仕表 6.8.1による | 図示 | 下地：モルタル 下地：ラワン合板・鋼製床 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. | 1. 一般事項 | <p>工事に先立ち、改修部分の隠蔽部の調査を行い、設計図書と照合し、支障があった場合は、速やかに監督員に報告し、指示を受けること。</p> <p>各部の撤去により、下地及び構造躯体にひび割れ及び欠陥部が発見された場合は、速やかに監督員に報告し指示を受けること。</p> | 10. セッコウボードその他ボード及び合板張り | <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材質</th> <th rowspan="2">種類・種類</th> <th rowspan="2">色柄</th> <th rowspan="2">厚さ</th> <th colspan="3">幅木</th> <th rowspan="2">接着剤</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ</th> <th>高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セッコウボード</td> <td>織布積層ビニル床シートFS</td> <td>標準色</td> <td>2.5</td> <td>軟質</td> <td>1.5</td> <td>60</td> <td>改標仕表 6.8.1による</td> <td>図示</td> <td>下地：モルタル 下地：ラワン合板・鋼製床</td> </tr> </tbody> </table> | 材質 | 種類・種類 | 色柄 | 厚さ | 幅木 | | | 接着剤 | 施工箇所 | 備考 | 材質 | 厚さ | 高さ | セッコウボード | 織布積層ビニル床シートFS | 標準色 | 2.5 | 軟質 | 1.5 | 60 | 改標仕表 6.8.1による | 図示 | 下地：モルタル 下地：ラワン合板・鋼製床 | 18. シャワーユニット | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 材質 | 種類・種類 | 色柄 | 厚さ | 幅木 | | | | | 接着剤 | 施工箇所 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 材質 | 厚さ | 高さ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| セッコウボード | 織布積層ビニル床シートFS | 標準色 | 2.5 | 軟質 | 1.5 | 60 | 改標仕表 6.8.1による | 図示 | 下地：モルタル 下地：ラワン合板・鋼製床 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. | 2. 撤去並びに下地補修 | <p>各改修工事の仕様は、仕様・仕上げ表による。</p> <p>床改修 既設床仕上げ材の除去 改標仕6.2.2(1)参照</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>撤去工法</th> <th>撤去範囲</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビニル床タイル</td> <td>改標仕6.2.2(1)(ア)による</td> <td>全面・一部(図示)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>床組</td> <td>改標仕6.2.2(1)(オ)</td> <td>全面(図示)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>コンクリート又はモルタル面の下地処理 改標仕6.2.2(2)参照</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>下地の状況</th> <th>下地処理方法</th> <th>備考欄</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>欠損部 下地モルタル撤去部</td> <td>モルタルで補修し乾燥後 デッキブラシ等で清掃</td> <td>塗厚さ及び下地の風化状況により、 モルタル補修が困難な場合は、カチ オン系樹脂モルタル及びリノール等の補修</td> </tr> </tbody> </table> <p>・改修後の床の清掃範囲は図示する。</p> <p>壁改修 ・木製及び軽量鉄骨間仕切り壁 改標仕6.3.2(2)、(3)及び(4)参照</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>撤去区分</th> <th>既存床・建具・天井取合の補修範囲及び内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>壁下地を含む全面 ボード面まで</td> <td>床：現況のまま、天井：下地補強及び補修</td> </tr> <tr> <td>ボード面を残し仕上げのみ</td> <td>床：現況のまま、天井：下地補強及び補修</td> </tr> </tbody> </table> <p>天井改修 改標仕6.4.2参照</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>撤去区分</th> <th>既存壁取合の補修範囲及び内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天井下地を含む全面 ボード面まで</td> <td>照明器具他一旦取り外し、再取付(設備工事)</td> </tr> <tr> <td>ボード面を残し仕上げのみ</td> <td>天井点検口撤去・一旦取り外し及再取付・新設(建築工事)</td> </tr> </tbody> </table> | 種類 | 撤去工法 | 撤去範囲 | 備考 | ビニル床タイル | 改標仕6.2.2(1)(ア)による | 全面・一部(図示) | | 床組 | 改標仕6.2.2(1)(オ) | 全面(図示) | | 下地の状況 | 下地処理方法 | 備考欄 | 欠損部 下地モルタル撤去部 | モルタルで補修し乾燥後 デッキブラシ等で清掃 | 塗厚さ及び下地の風化状況により、 モルタル補修が困難な場合は、カチ オン系樹脂モルタル及びリノール等の補修 | 撤去区分 | 既存床・建具・天井取合の補修範囲及び内容 | 壁下地を含む全面 ボード面まで | 床：現況のまま、天井：下地補強及び補修 | ボード面を残し仕上げのみ | 床：現況のまま、天井：下地補強及び補修 | 撤去区分 | 既存壁取合の補修範囲及び内容 | 天井下地を含む全面 ボード面まで | 照明器具他一旦取り外し、再取付(設備工事) | ボード面を残し仕上げのみ | 天井点検口撤去・一旦取り外し及再取付・新設(建築工事) | 19. カーテンレール | <p>カーテンレール：アルミ正面付タイプ シャワーカーテン：ポリエステル製 L=1.0m x H=1.8m</p> <p>シルキーブラインド、ピッチ20mm、ワンポール式。</p> <p>材質：陶板製・磁器質製 800×600×6mm、接着張り、シーリング共</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミ製</td> <td>450角</td> <td>一般型</td> <td>屋内用</td> <td>額縁</td> </tr> </tbody> </table> <p>塩ビ製 30×30程度</p> | 材種 | 寸法 | 形式 | 外枠 | 内枠 | アルミ製 | 450角 | 一般型 | 屋内用 | 額縁 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種類 | 撤去工法 | 撤去範囲 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ビニル床タイル | 改標仕6.2.2(1)(ア)による | 全面・一部(図示) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 床組 | 改標仕6.2.2(1)(オ) | 全面(図示) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 下地の状況 | 下地処理方法 | 備考欄 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 欠損部 下地モルタル撤去部 | モルタルで補修し乾燥後 デッキブラシ等で清掃 | 塗厚さ及び下地の風化状況により、 モルタル補修が困難な場合は、カチ オン系樹脂モルタル及びリノール等の補修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 撤去区分 | 既存床・建具・天井取合の補修範囲及び内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 壁下地を含む全面 ボード面まで | 床：現況のまま、天井：下地補強及び補修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ボード面を残し仕上げのみ | 床：現況のまま、天井：下地補強及び補修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 撤去区分 | 既存壁取合の補修範囲及び内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 天井下地を含む全面 ボード面まで | 照明器具他一旦取り外し、再取付(設備工事) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ボード面を残し仕上げのみ | 天井点検口撤去・一旦取り外し及再取付・新設(建築工事) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 材種 | 寸法 | 形式 | 外枠 | 内枠 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アルミ製 | 450角 | 一般型 | 屋内用 | 額縁 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. | 1. 一般事項 | <p>工事に先立ち、改修部分の隠蔽部の調査を行い、設計図書と照合し、支障があった場合は、速やかに監督員に報告し、指示を受けること。</p> | | | 19. カーテンレール | <p>カーテンレール：アルミ正面付タイプ シャワーカーテン：ポリエステル製 L=1.0m x H=1.8m</p> <p>シルキーブラインド、ピッチ20mm、ワンポール式。</p> <p>材質：陶板製・磁器質製 800×600×6mm、接着張り、シーリング共</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミ製</td> <td>450角</td> <td>一般型</td> <td>屋内用</td> <td>額縁</td> </tr> </tbody> </table> <p>塩ビ製 30×30程度</p> | 材種 | 寸法 | 形式 | 外枠 | 内枠 | アルミ製 | 450角 | 一般型 | 屋内用 | 額縁 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 材種 | 寸法 | 形式 | 外枠 | 内枠 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アルミ製 | 450角 | 一般型 | 屋内用 | 額縁 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. | 2. 撤去並びに下地補修 | <p>各改修工事の仕様は、仕様・仕上げ表による。</p> <p>床改修 既設床仕上げ材の除去 改標仕6.2.2(1)参照</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>撤去工法</th> <th>撤去範囲</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビニル床タイル</td> <td>改標仕6.2.2(1)(ア)による</td> <td>全面・一部(図示)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>床組</td> <td>改標仕6.2.2(1)(オ)</td> <td>全面(図示)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>コンクリート又はモルタル面の下地処理 改標仕6.2.2(2)参照</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>下地の状況</th> <th>下地処理方法</th> <th>備考欄</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>欠損部 下地モルタル撤去部</td> <td>モルタルで補修し乾燥後 デッキブラシ等で清掃</td> <td>塗厚さ及び下地の風化状況により、 モルタル補修が困難な場合は、カチ オン系樹脂モルタル及びリノール等の補修</td> </tr> </tbody> </table> <p>・改修後の床の清掃範囲は図示する。</p> <p>壁改修 ・木製及び軽量鉄骨間仕切り壁 改標仕6.3.2(2)、(3)及び(4)参照</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>撤去区分</th> <th>既存床・建具・天井取合の補修範囲及び内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>壁下地を含む全面 ボード面まで</td> <td>床：現況のまま、天井：下地補強及び補修</td> </tr> <tr> <td>ボード面を残し仕上げのみ</td> <td>床：現況のまま、天井：下地補強及び補修</td> </tr> </tbody> </table> <p>天井改修 改標仕6.4.2参照</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>撤去区分</th> <th>既存壁取合の補修範囲及び内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天井下地を含む全面 ボード面まで</td> <td>照明器具他一旦取り外し、再取付(設備工事)</td> </tr> <tr> <td>ボード面を残し仕上げのみ</td> <td>天井点検口撤去・一旦取り外し及再取付・新設(建築工事)</td> </tr> </tbody> </table> | 種類 | 撤去工法 | 撤去範囲 | 備考 | ビニル床タイル | 改標仕6.2.2(1)(ア)による | 全面・一部(図示) | | 床組 | 改標仕6.2.2(1)(オ) | 全面(図示) | | 下地の状況 | 下地処理方法 | 備考欄 | 欠損部 下地モルタル撤去部 | モルタルで補修し乾燥後 デッキブラシ等で清掃 | 塗厚さ及び下地の風化状況により、 モルタル補修が困難な場合は、カチ オン系樹脂モルタル及びリノール等の補修 | 撤去区分 | 既存床・建具・天井取合の補修範囲及び内容 | 壁下地を含む全面 ボード面まで | 床：現況のまま、天井：下地補強及び補修 | ボード面を残し仕上げのみ | 床：現況のまま、天井：下地補強及び補修 | 撤去区分 | 既存壁取合の補修範囲及び内容 | 天井下地を含む全面 ボード面まで | 照明器具他一旦取り外し、再取付(設備工事) | ボード面を残し仕上げのみ | 天井点検口撤去・一旦取り外し及再取付・新設(建築工事) | 20. プラインド | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種類 | 撤去工法 | 撤去範囲 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ビニル床タイル | 改標仕6.2.2(1)(ア)による | 全面・一部(図示) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 床組 | 改標仕6.2.2(1)(オ) | 全面(図示) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 下地の状況 | 下地処理方法 | 備考欄 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 欠損部 下地モルタル撤去部 | モルタルで補修し乾燥後 デッキブラシ等で清掃 | 塗厚さ及び下地の風化状況により、 モルタル補修が困難な場合は、カチ オン系樹脂モルタル及びリノール等の補修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 撤去区分 | 既存床・建具・天井取合の補修範囲及び内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 壁下地を含む全面 ボード面まで | 床：現況のまま、天井：下地補強及び補修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ボード面を残し仕上げのみ | 床：現況のまま、天井：下地補強及び補修 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 撤去区分 | 既存壁取合の補修範囲及び内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 天井下地を含む全面 ボード面まで | 照明器具他一旦取り外し、再取付(設備工事) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ボード面を残し仕上げのみ | 天井点検口撤去・一旦取り外し及再取付・新設(建築工事) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. | 3. 木製建具 | <p>建具材の含水率の種別は、(A・B)種とする。</p> <p>見込み寸法は、(36、25)mmとする。</p> <p>フラッシュ戸の表面材の種類(普通合板・天然木化粧合板・特殊加工化粧合板・MDF・メラミン化粧板)。 MDFを使用する場合の品質()。</p> <p>フラッシュ戸の表面材の品質について、ホルムアルデヒドの放散量は、F とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F のフラッシュ戸を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。 その他は、改標仕5.7.2(2)による。</p> <p>表面板の厚さは、(2.4)mmとする。</p> <p>建物内部の木製建具に使用するホルムアルデヒド水溶液を用いた造作用、壁紙施工用及び建具用でん粉系接着剤のホルムアルデヒドの放散量は、F とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F のでん粉系接着剤を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p> | | | 20. プラインド | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. | 4. 建具用金物 | <p>金物の種類及び見え掛り部の材質は、改標仕表5.8.1による。</p> <p>既製又はこれに準ずる建具の建具金物は、建具製作所の仕様による。</p> <p>木製建具に使用する丁番は改標仕表5.8.4による。</p> <p>握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセント等の取付け位置は図示による。</p> | | | 21. 汚垂れ石 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. | 4. 自閉式上吊引戸装置 | <p>設置場所：建具表による。</p> <p>引き戸装置の性能は、採用製造所の仕様による。</p> <p>製造所：評価名簿による。</p> | | | 22. 天井点検口 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. | 5. アクリル樹脂板 | <p>アクリル樹脂板のシーリング材は樹脂用シリコンとする。</p> | | | 23. 廻縁 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 章 | 項目 | 特記事項 | 章 | 項目 | 特記事項 | 章 | 項目 | 特記事項 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|---------------------|--|--------------|----------------------|--------|---------------------------|---------------|-------------|--------|-----|------------|------------|---------------|----|-----------|---------------------|--------------------|--------------|---------|---------------------------|--------------------|------|----------------------|----|-------|---------------|--------------|--------------|------------|---|--|-------|-------|----|------|------|----------------|------|------|----------|----|-----|---------------------------------|--|--|------|----------|--|--|--|--|--|------|-----------|---|---------|---|-----|---|------|--------|---|--------|---|-----|---|------|---------|--|--|--|--|--|----|----|----|---------|----|------|---|-------|----|---------|-------|-----|---------|------|------|------|---------|------|------|------|---|----|--|--|------|--|---|---------|-----|---------|-------|--|----|----|----|---------|----|------|----|------|--|--------|------|-----|--|
| 5章 | 塗装改修工事 | <p>防火材料又は建築基準法に基づく指定又は認定を受けたものとする。</p> <p>塗料はホルマリン不検出のもの及び有機溶剤の含有量が少ないものとする。</p> <p>ユリア樹脂等（ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤）を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量は、F とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F の塗料を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">種別</th> <th rowspan="2">下地調整 (新規面は素地こしらえ)</th> <th colspan="2">さび止め塗料</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>屋外</th> <th>屋内</th> <th>屋外</th> <th>屋内</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td></td> <td>○</td> <td>改標仕表7.2.1 B種</td> <td></td> <td></td> <td>9F女子100ガ-戸枠 2F3F既存サッシ種</td> </tr> </table> <p>3. 合成樹脂エマルジョンペイント塗料(EP)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>種別</th> <th>下地調整 (新規面は素地こしらえ)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>石膏ボード</td> <td>改標仕表7.10.1 B種</td> <td>改標仕表7.2.7 B種</td> <td>1FWC天井面、刷毛塗り</td> </tr> </table> | 区分 | 種別 | | 下地調整 (新規面は素地こしらえ) | さび止め塗料 | | 備考 | 屋外 | 屋内 | 屋外 | 屋内 | 木部 | | ○ | 改標仕表7.2.1 B種 | | | 9F女子100ガ-戸枠 2F3F既存サッシ種 | 区分 | 種別 | 下地調整 (新規面は素地こしらえ) | 備考 | 石膏ボード | 改標仕表7.10.1 B種 | 改標仕表7.2.7 B種 | 1FWC天井面、刷毛塗り | 8章 その他改修工事 | <p>1. L Pガス容器収納庫及びコカ-ラ-架台</p> <p>2. シーリング</p> <p>9章 環境配慮(グリーン)改修工事</p> <p>1. アスベスト含有建材の処理工事</p> <p>1. 一般事項</p> <p>2. アスベスト含有成形板の除去</p> <p>5. アスベスト含有仕上塗材の除去</p> | <p>5 0 キロ容器 4 本用、W1800×H2160×D650 (参考)、乙種防火シャッター (延焼の恐れ範囲)</p> <p>架台：鉄筋コンクリート 2100×950×H240 (参考)、アンカーボルト：M10×4本</p> <p>シーリング材は、JIS A 5758の規格品とする。</p> <p>プライマーは、被着体及びシーリングの種類により使い分けること。</p> <p>監督員に、シーリング材の有効期限が切れていないことの確認を受けること。</p> <p>種類及び施工箇所</p> <table border="1"> <tr> <th>記号</th> <th>材質</th> <th>既存</th> <th>施工箇所</th> <th>改修工法</th> <th>寸法</th> <th>接着試験</th> </tr> <tr> <td>SR-1</td> <td>1成分シリコン系</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>SR-2</td> <td>2成分シリコン系</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>PS-2</td> <td>ポリサルファイド系</td> <td>-</td> <td>脱衣櫃、トイレ</td> <td>-</td> <td>5×5</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>MS-2</td> <td>変成シリコン</td> <td>-</td> <td>汚れたタイル</td> <td>-</td> <td>5×5</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>PU-2</td> <td>ポリウレタン系</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>関係法令、都道府県の条例等を遵守すること。</p> <p>石綿ばく露防止対策等の実施内容を改標仕9.1.2 (6) により見やすい場所に掲示すること。</p> <p>アスベスト粉塵濃度測定を (行う) ・ 行わない) 。 ・濃度測定は「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法 - 第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡法による。 ・測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 ・報告書を (3) 部作成し監督員に提出すること。 ・測定場所及び箇所は図示による。測定時期 (着手前、作業中、完了後)</p> <p>施工計画 (1) 工事着手前に施工計画書 (関係法令の作業計画内容を含む) を監督員に提出し、承諾を受けること。 (2) アスベスト除去工事に係る官公署他への手続きを遅延なく行うこと。</p> <p>アスベスト含有吹付け材の除去を直接行う専門工事業者については、工事に相応した技術を有することを証明する資料を監督員に提出する。</p> <p>養生等 (1) 建築物外周部で除去作業を行う場合の仮囲いの仕様は以下による。(該当なし) 外部足場 (種類： , 仕様 枚布, D= cm, シート種類：) 仮囲い高さ：H= m (2) 建築物内部で除去作業を行う場合は、建具等を全て閉じた状態で行う。閉じることの出来ない開口部の養生方法及び解体用仮設の仕様は下記による。 内部足場 (種類：脚立足場) 養生種別 (養生シート敷 一部刃ハコ2.5mm敷)</p> <p>工法 (1) 除去は、アスベストを含まない内装材及び外部建具の撤去にさきが行うこと。 (2) 除去は、破壊又は破断を伴わない方法で行うものとし、原形のまま、「手ばらし」とする。 建築物外部の成形板を除去する場合も同様とする。 なお、やむを得ず切断、破砕等をしなければならない場合は、監督員と協議のうえ、常時湿潤化した状態で作業を行う。 ただし、アスベストを含有するけい酸カルシウム板第一種は、養生シート等で作業場所の隔離 (負圧不要) を行う。 建物から取り外した廃材を湿潤化のうえ、原形のまま保管・運搬できるよう十分な大きさのフレキシブルコンテナバッグや車両を用意すること。</p> <p>除去箇所一覧表</p> <table border="1"> <tr> <th>階数</th> <th>室名</th> <th>箇所</th> <th>建 材 種 別</th> <th>面積</th> <th>調査方法</th> </tr> <tr> <td rowspan="5">2</td> <td>男女宿泊室</td> <td rowspan="5">床面</td> <td rowspan="5">ビニースタイル</td> <td>44.22</td> <td rowspan="5">みなし</td> </tr> <tr> <td>教師男女宿泊室</td> <td>13.1</td> </tr> <tr> <td>男女WC</td> <td>7.45</td> </tr> <tr> <td>男女シャワー室</td> <td>6.12</td> </tr> <tr> <td>男子WC</td> <td>0.52</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>廊下</td> <td></td> <td></td> <td>7.17</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>男女シャワー室</td> <td>天井面</td> <td>石綿板 4mm</td> <td>23.74</td> <td></td> </tr> </table> <p>除去が完了したときは、アスベスト等に関する知識を有する者等が除去を完了したことを確認し、監督員に報告すること。</p> <p>施工記録等 (1) 施工記録報告書及び特定粉じん排出等作業完了報告書を作成し、監督員に提出すること。 (2) 作業計画による作業の記録は、3年間保存すること。</p> <p>工法 ・剥離剤併用手工具ケレン工法 除去箇所一覧表</p> <table border="1"> <tr> <th>階数</th> <th>室名</th> <th>箇所</th> <th>建 材 種 別</th> <th>面積</th> <th>調査方法</th> </tr> <tr> <td>3階</td> <td>和室6帖</td> <td></td> <td>ジュラックス</td> <td>12.5</td> <td>みなし</td> </tr> </table> <p>隔離養生等 除去したアスベスト含有仕上塗材の廃棄物は、耐水性のプラスチック袋等により二重でこん包すること。</p> | 記号 | 材質 | 既存 | 施工箇所 | 改修工法 | 寸法 | 接着試験 | SR-1 | 1成分シリコン系 | | | | | | SR-2 | 2成分シリコン系 | | | | | | PS-2 | ポリサルファイド系 | - | 脱衣櫃、トイレ | - | 5×5 | 無 | MS-2 | 変成シリコン | - | 汚れたタイル | - | 5×5 | 無 | PU-2 | ポリウレタン系 | | | | | | 階数 | 室名 | 箇所 | 建 材 種 別 | 面積 | 調査方法 | 2 | 男女宿泊室 | 床面 | ビニースタイル | 44.22 | みなし | 教師男女宿泊室 | 13.1 | 男女WC | 7.45 | 男女シャワー室 | 6.12 | 男子WC | 0.52 | 3 | 廊下 | | | 7.17 | | 2 | 男女シャワー室 | 天井面 | 石綿板 4mm | 23.74 | | 階数 | 室名 | 箇所 | 建 材 種 別 | 面積 | 調査方法 | 3階 | 和室6帖 | | ジュラックス | 12.5 | みなし | <p>除去が完了したときは、アスベスト等に関する知識を有する者等が除去を完了したことを確認し、監督員に報告すること。</p> <p>施工記録等 (1) 施工記録報告書及び特定粉じん排出等作業完了報告書を作成し、監督員に提出すること。 (2) 施工記録報告書のうち作業者の作業記録は40年間保存すること。 (3) 作業計画による作業の記録は、3年間保存すること。</p> |
| 区分 | 種別 | | | 下地調整 (新規面は素地こしらえ) | さび止め塗料 | | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 屋外 | 屋内 | 屋外 | | 屋内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 木部 | | ○ | 改標仕表7.2.1 B種 | | | 9F女子100ガ-戸枠 2F3F既存サッシ種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 区分 | 種別 | 下地調整 (新規面は素地こしらえ) | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 石膏ボード | 改標仕表7.10.1 B種 | 改標仕表7.2.7 B種 | 1FWC天井面、刷毛塗り | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 記号 | 材質 | 既存 | 施工箇所 | 改修工法 | 寸法 | 接着試験 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| SR-1 | 1成分シリコン系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| SR-2 | 2成分シリコン系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| PS-2 | ポリサルファイド系 | - | 脱衣櫃、トイレ | - | 5×5 | 無 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| MS-2 | 変成シリコン | - | 汚れたタイル | - | 5×5 | 無 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| PU-2 | ポリウレタン系 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 階数 | 室名 | 箇所 | 建 材 種 別 | 面積 | 調査方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 男女宿泊室 | 床面 | ビニースタイル | 44.22 | みなし | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 教師男女宿泊室 | | | 13.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男女WC | | | 7.45 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男女シャワー室 | | | 6.12 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 男子WC | | | 0.52 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 廊下 | | | 7.17 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 男女シャワー室 | 天井面 | 石綿板 4mm | 23.74 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 階数 | 室名 | 箇所 | 建 材 種 別 | 面積 | 調査方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3階 | 和室6帖 | | ジュラックス | 12.5 | みなし | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6章 | 鉄筋工事 | <p>1. 材料</p> <table border="1"> <tr> <th>規格番号</th> <th>規格名称</th> <th>種類の記号</th> <th>径(mm)</th> </tr> <tr> <td>JIS G 3112</td> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼</td> <td>SD295A</td> <td>D10</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3551</td> <td>溶接金網及び鉄筋格子</td> <td>網目の形状： 寸法： 径：</td> <td></td> </tr> </table> <p>2. 材料試験</p> <p>材料試験は行わない。 ただし、規格証明書を提出し、監督員の承諾を得ること。</p> <p>3. 鉄筋の継手及び定着</p> <p>鉄筋の継手は (重ね継手) ・ ガス圧接継手 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手) とする。</p> <p>鉄筋の継手の位置は図示による。</p> <p>結束線の端部は内側に折り曲げる。</p> <p>鉄筋の90°未満の折曲げの内法直径は図示による。</p> <p>鉄筋の定着方法及び長さは図示による。</p> <p>4. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔</p> <p>各部の配筋は、図示による。図示されていない場合は、標仕参考図 [1節 - 基礎及び基礎梁の配筋] - [7節 - 梁貫通孔その他配筋] による。</p> <p>10. 配筋検査</p> <p>主要な配筋は、コンクリート打込みに先立ち、種類、径、数量、かぶり、間隔、位置等について、監督職員の検査を受ける。</p> <p>7章 コンクリート工事</p> <p>1.一般事項</p> <p>コンクリートの種別 ・ 類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・ 類 (JIS A 5308への適合したコンクリート)</p> <p>設計基準強度</p> <table border="1"> <tr> <th>コンクリートの種類</th> <th>設計基準強度 Fc(N/mm2)</th> <th>調管理強度 Fn(N/mm2)</th> <th>スランプ (cm)</th> <th>強度試験の有無</th> <th>種別</th> <th>気乾単位容積重量 (t/m3)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>18</td> <td>FC+S</td> <td>15</td> <td>無</td> <td></td> <td>2.3</td> <td>架台 1F 厨房1F</td> </tr> </table> <p>構造体コンクリートの調管理強度は、設計基準強度 (Fc) に構造体強度補正值 (S) を加えた値とする。 なお、構造体強度補正值 (S) は標仕 表6.3.2によりセメントの種類及びコンクリートの打込みから材齢28日までの予想平均気温に応じて定める。</p> <p>2.コンクリートの仕上がり</p> <p>コンクリート部材の位置及び断面寸法の許容値は、標仕 表6.2.3による。</p> <p>3.普通コンクリート</p> <p>セメントの種類は、 (普通ポルトランドセメント) ・ 混合セメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種) とする。</p> <p>骨材は、標仕6.3.1 (2) による。</p> <p>細骨材に含まれる塩化物量は、NaCl換算で0.04%以下とする。</p> <p>コンクリート中の塩化物量は、0.3kg/m3以下とし、試験方法は標仕6.5.4による。</p> <p>試験りは (行う) ・ (行わない)) 。</p> <p>所要空気量は4.5%±1.5%とする。</p> <p>レディミクストコンクリート工場の指定は、工事開始に先立ち、工場を選定し、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>型枠は、 (県産木製型枠) ・ (合板) ・ 金属製 ・ 樹脂系 ・ 打込み型枠 ・ ブロック) とする。</p> <table border="1"> <tr> <th>型枠の種別</th> <th>仕上げ種別</th> <th>塗装の有無</th> <th>材質</th> <th>厚さ</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>標仕6.8.2 (2)(イ)</td> <td>普通型枠</td> <td>なし</td> <td>-</td> <td>12</td> <td>架 台</td> </tr> </table> | 規格番号 | 規格名称 | 種類の記号 | 径(mm) | JIS G 3112 | 鉄筋コンクリート用棒鋼 | SD295A | D10 | JIS G 3551 | 溶接金網及び鉄筋格子 | 網目の形状： 寸法： 径： | | コンクリートの種類 | 設計基準強度 Fc(N/mm2) | 調管理強度 Fn(N/mm2) | スランプ (cm) | 強度試験の有無 | 種別 | 気乾単位容積重量 (t/m3) | 適用箇所 | 普通 | 18 | FC+S | 15 | 無 | | 2.3 | 架台 1F 厨房1F | 型枠の種別 | 仕上げ種別 | 塗装の有無 | 材質 | 厚さ | 適用箇所 | 標仕6.8.2 (2)(イ) | 普通型枠 | なし | - | 12 | 架 台 | <p>6章 改特-03</p> <p>NO SCALE</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 規格番号 | 規格名称 | 種類の記号 | 径(mm) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| JIS G 3112 | 鉄筋コンクリート用棒鋼 | SD295A | D10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| JIS G 3551 | 溶接金網及び鉄筋格子 | 網目の形状： 寸法： 径： | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コンクリートの種類 | 設計基準強度 Fc(N/mm2) | 調管理強度 Fn(N/mm2) | スランプ (cm) | 強度試験の有無 | 種別 | 気乾単位容積重量 (t/m3) | 適用箇所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 普通 | 18 | FC+S | 15 | 無 | | 2.3 | 架台 1F 厨房1F | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 型枠の種別 | 仕上げ種別 | 塗装の有無 | 材質 | 厚さ | 適用箇所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 標仕6.8.2 (2)(イ) | 普通型枠 | なし | - | 12 | 架 台 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |



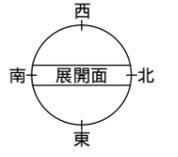
(現況) 1階平面図 S=1/100

凡例： は、通路養生範囲を表す
 床養生：養生シート+ラワンベニヤ2.5mm敷込（大講義室のみ）

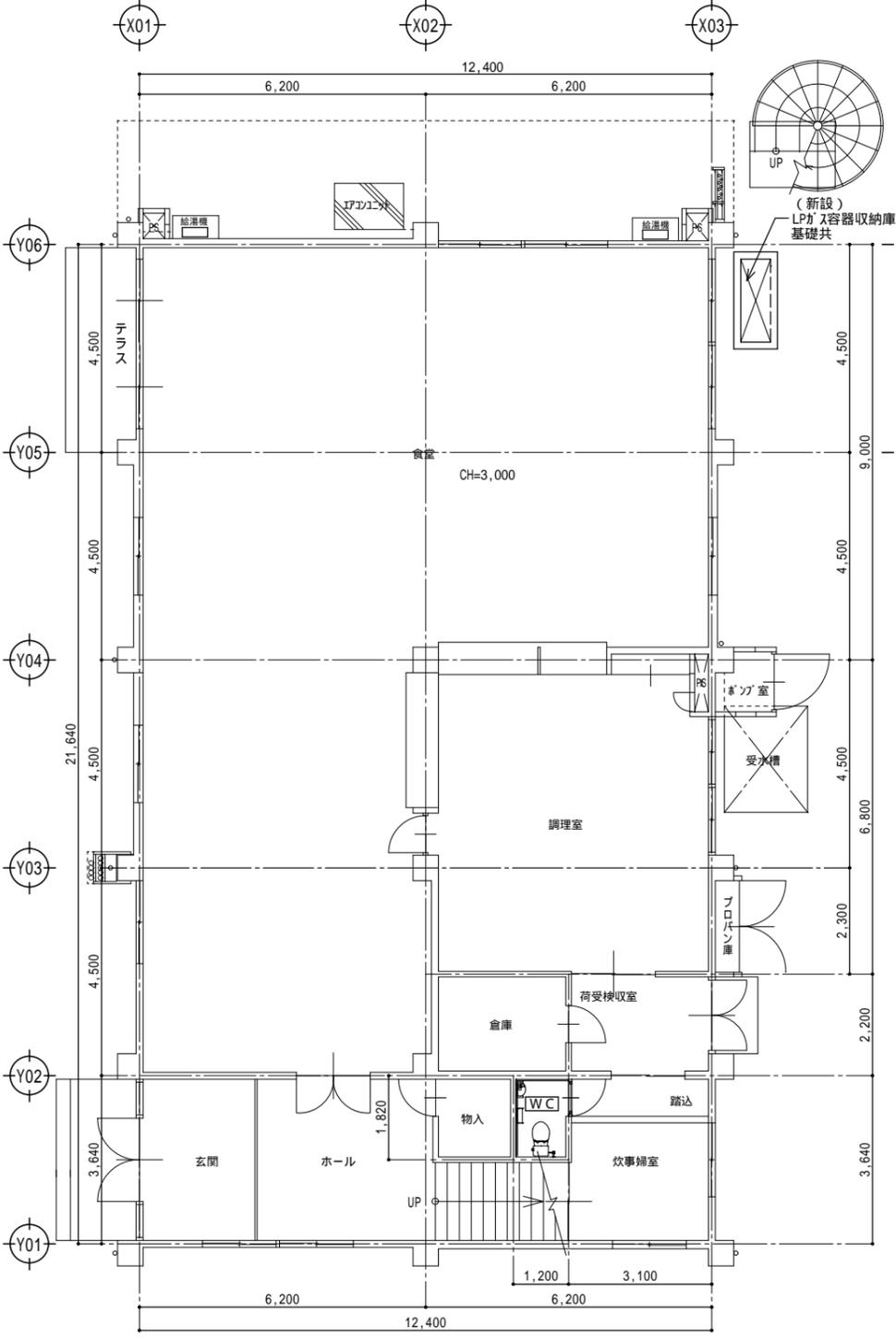
(現況) 2階平面図 S=1/100

(現況) 3階平面図 S=1/100

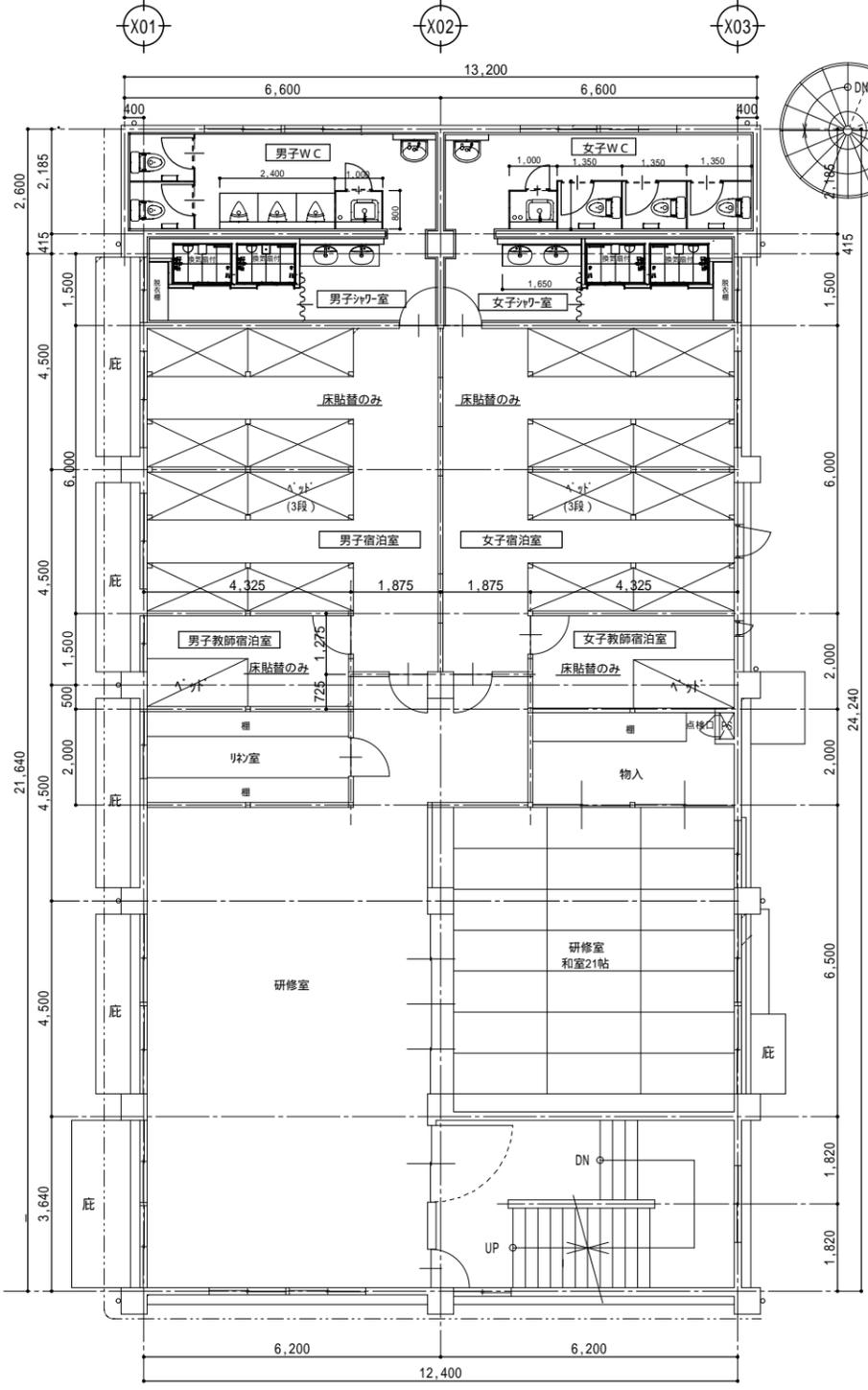
| | | | | | | |
|------------|------|--------------------------------|------|----------------------|--|---|
| 徳島県土整備部営繕課 | 工事名称 | R 6 営繕 鳴門高等学校 鳴・撫養 研修会館等改修工事建築 | 図面番号 | A - 2 | max 株式会社 マックス設計 Urban Consultant 大臣登録 第302457号 知事登録 第11071号 一級建築士 田 潤 宏 樹 | 〒779-3610 徳島県美馬市脇町大字脇町705-2 TEL0883(52)0574 FAX(53)9840 |
| | 図名 | 現況平面図 仮設間仕切・養生範囲 | 縮尺 | A2 1/100 A3 1/142 | | |



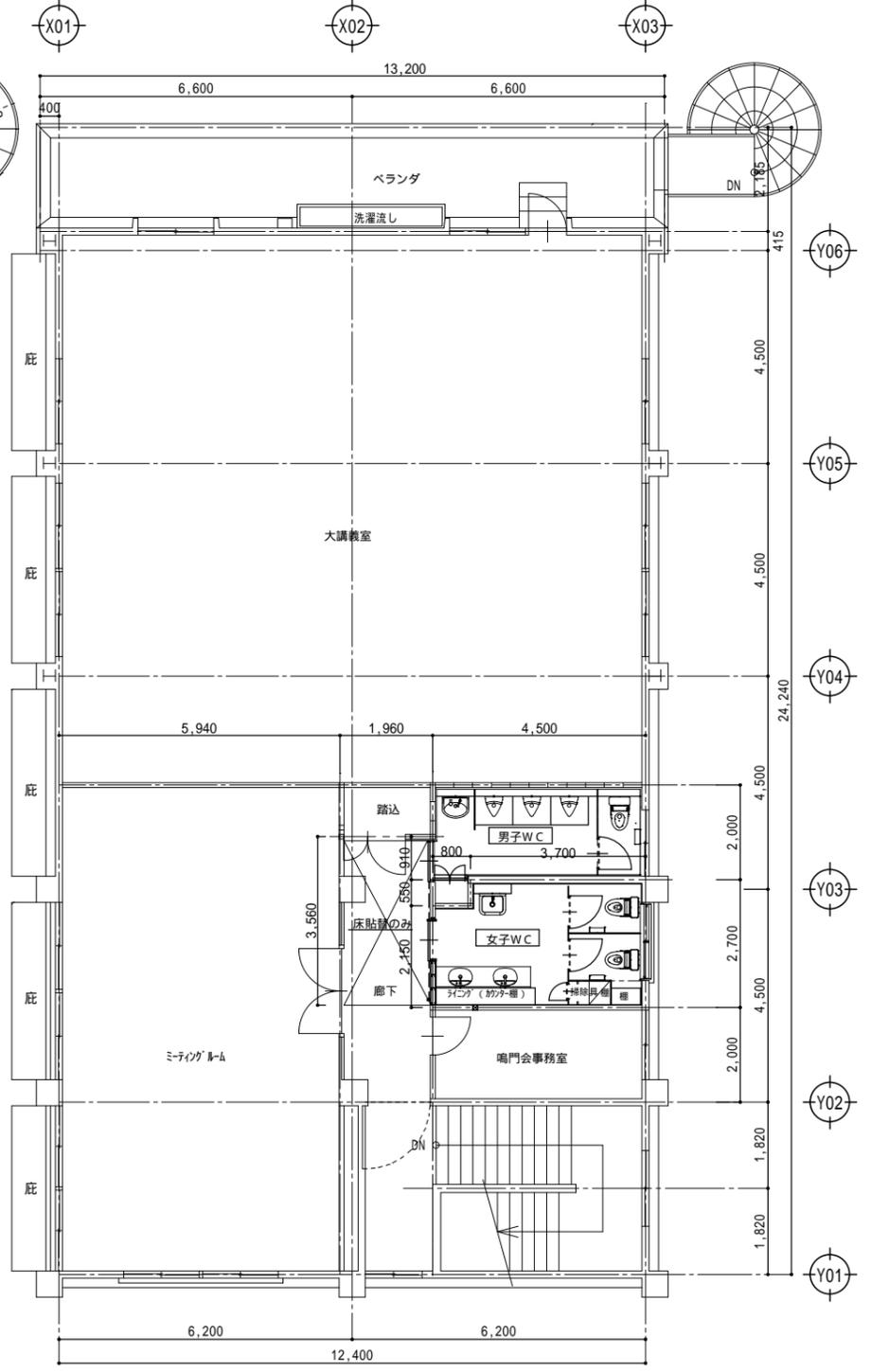
| 改修床面積 | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|--------|--------|---------|---------|-------|-------|---------|---------|------|---------|
| | 厨房 WC | 男子WC | 女子WC | 男子シャワー室 | 女子シャワー室 | 男子宿泊室 | 女子宿泊室 | 男子教師宿泊室 | 女子教師宿泊室 | 廊下 | 合計 |
| 1 階 | 2.184 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 2.184 |
| 2 階 | — | 14.421 | 14.421 | 11.873 | 11.873 | 39.59 | 39.59 | 8.65 | 8.65 | — | 149.068 |
| 3 階 | — | 9.0 | 11.71 | — | — | — | — | — | — | 6.98 | 27.69 |
| 合計 | 2.184 | 23.421 | 26.131 | 11.873 | 11.873 | 39.59 | 39.59 | 8.65 | 8.65 | 6.98 | 178.942 |



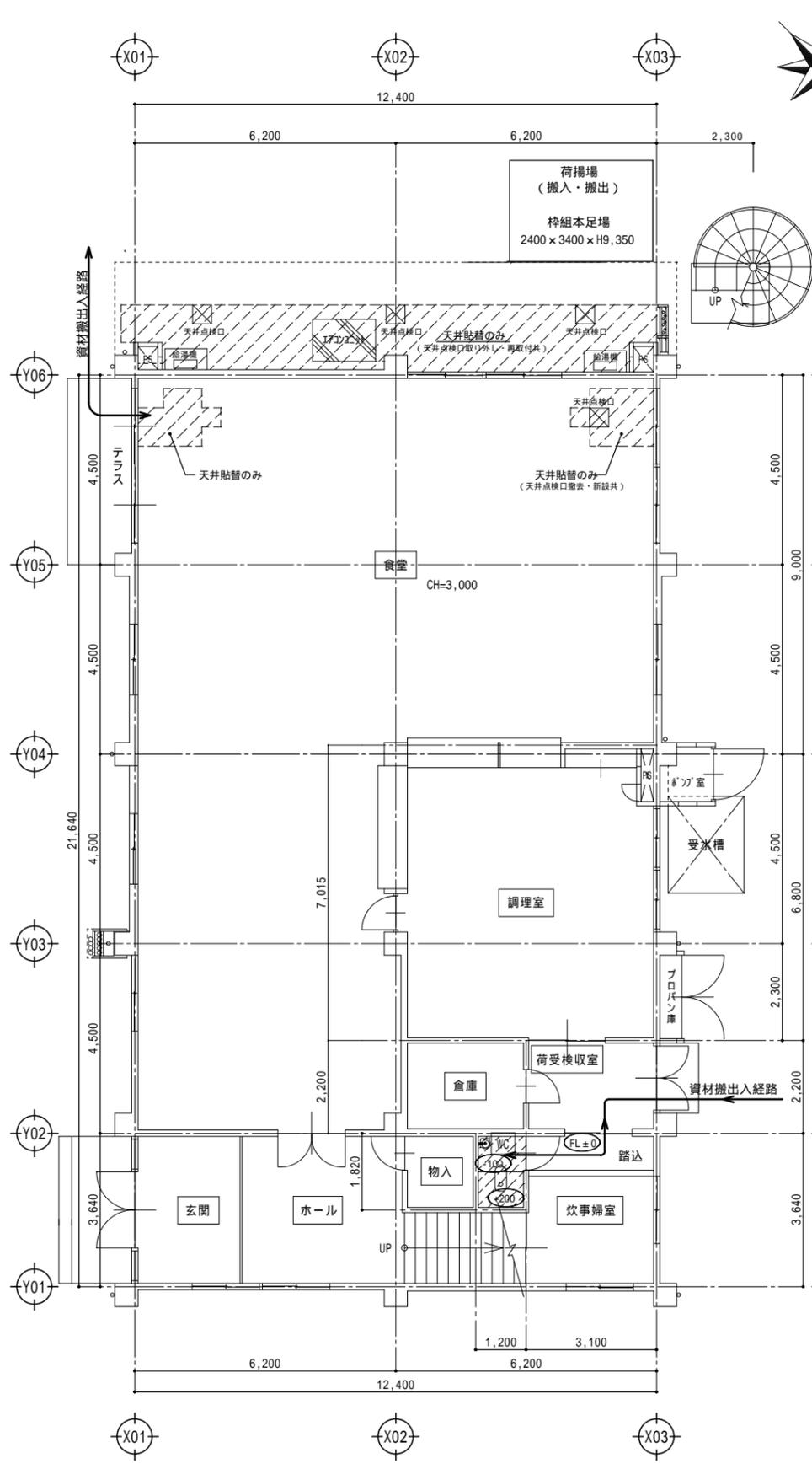
(改修) 1階平面図 S=1/100



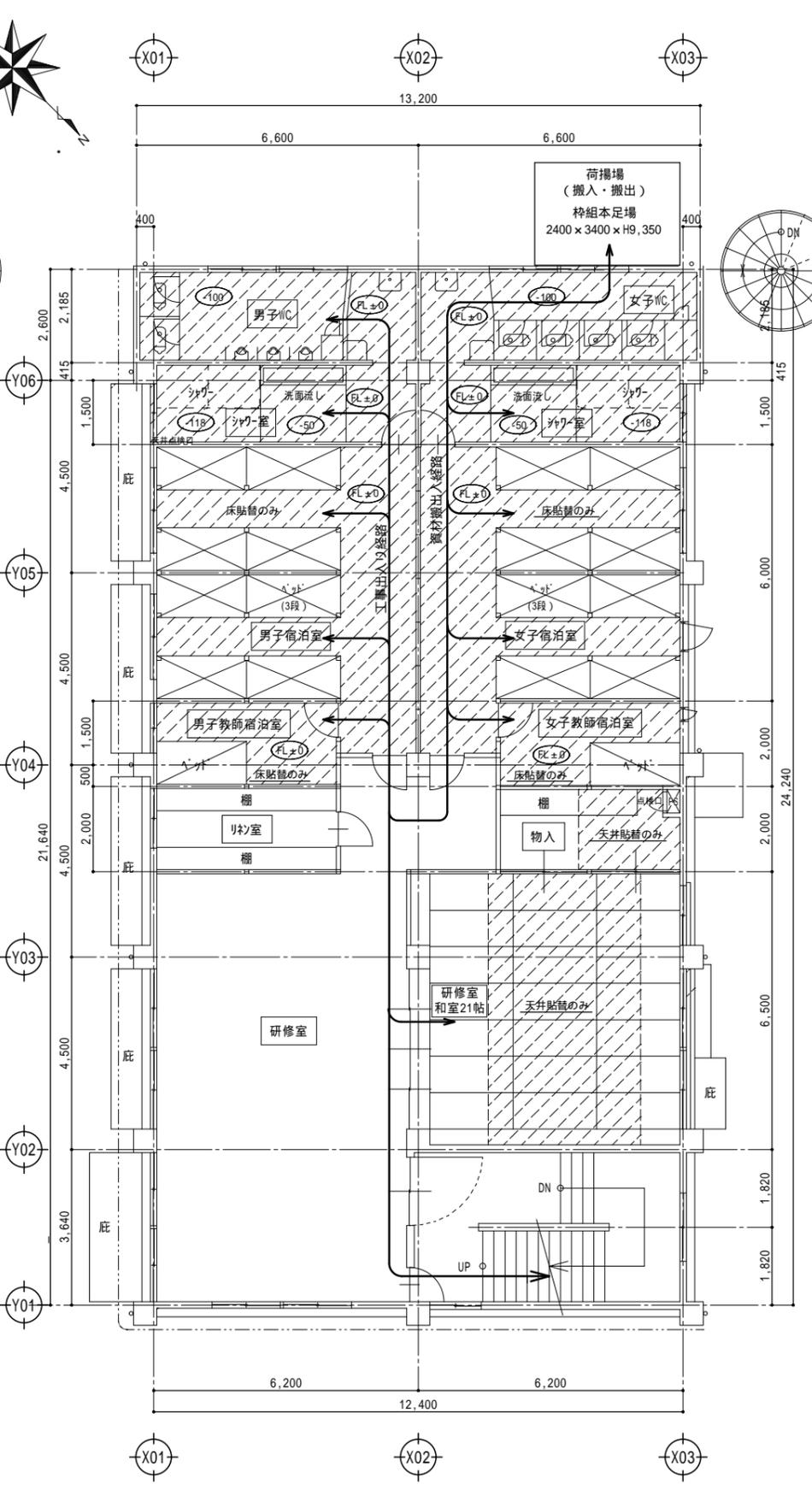
(改修) 2階平面図 S=1/100



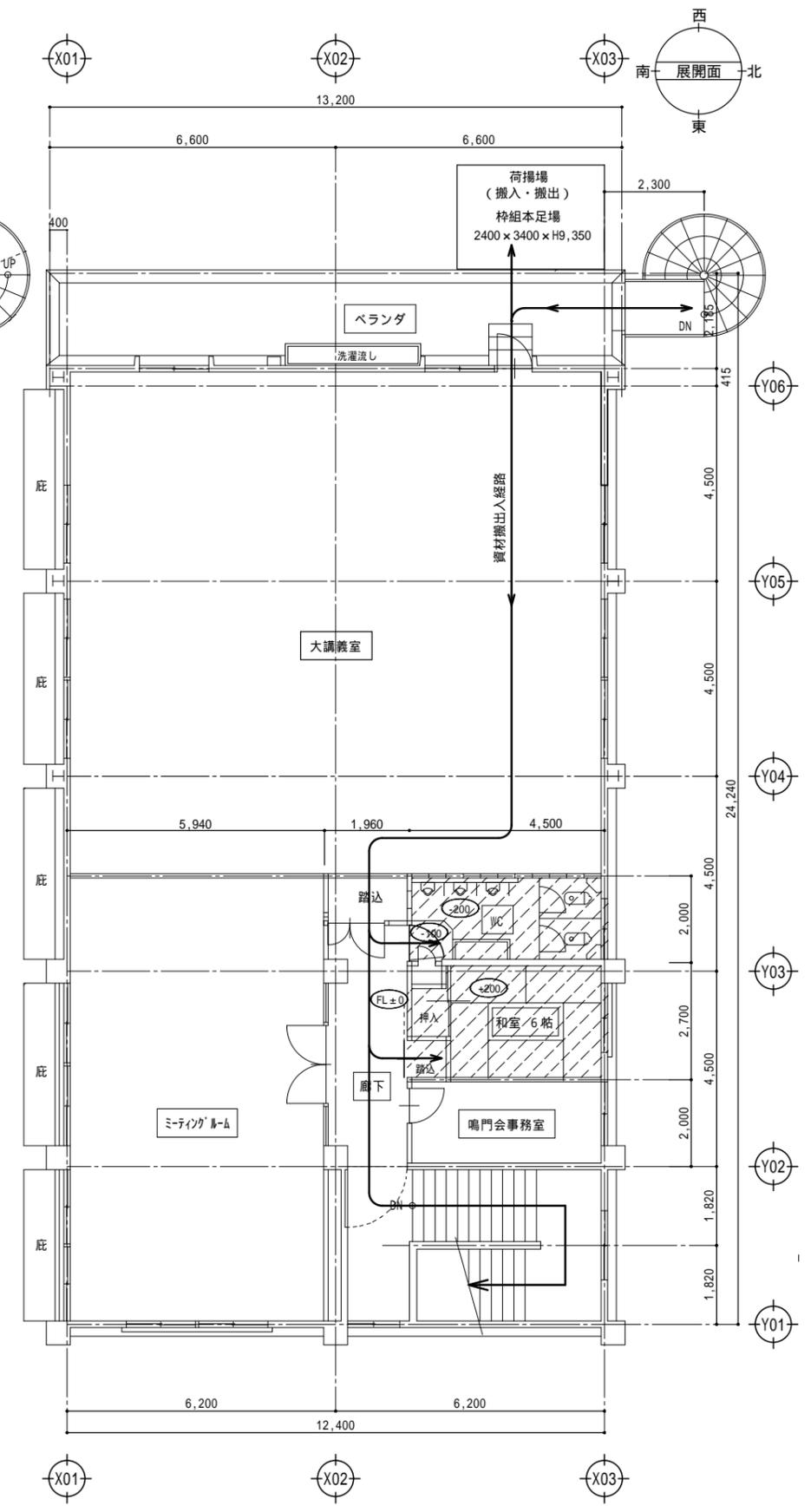
(改修) 3階平面図 S=1/100



(現況) 1階平面図 S=1/100



(現況) 2階平面図 S=1/100



(現況) 3階平面図 S=1/100

凡例: は、改修範囲を表す

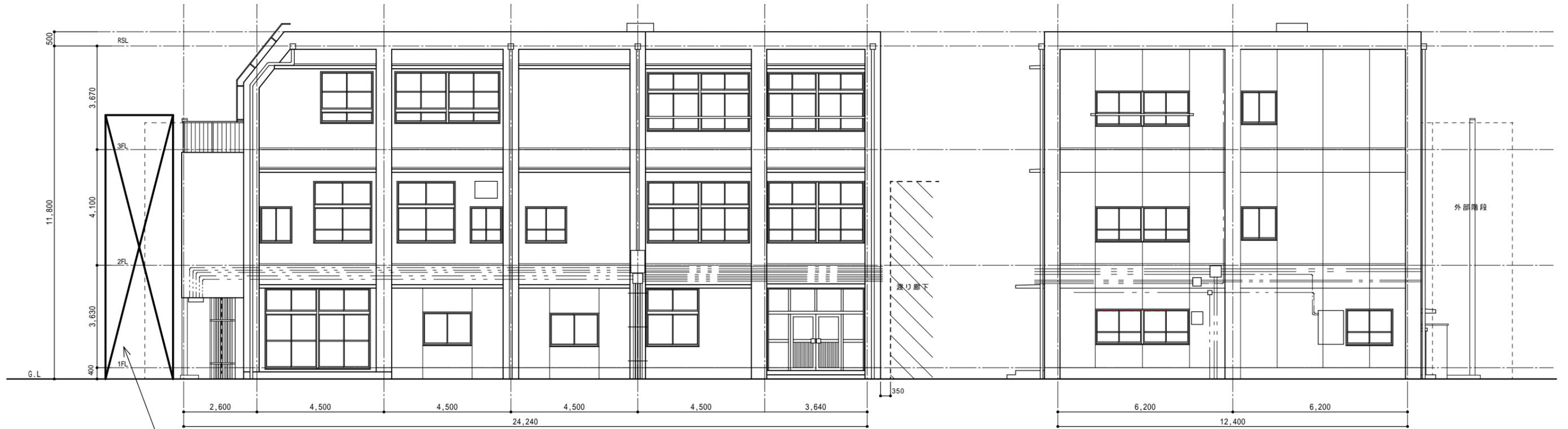
徳島県土整備部営繕課

工事名称 R 6 営繕 鳴門高等学校 鳴・撫養 研修会館等改修工事建築
 図名 (現況) 1階・2階・3階 平面図

図面番号 A - 4
 縮尺 A2 1/100
 A3 1/142

max 株式会社 マックス設計
 大正登録 第302457号 知事登録 第11071号
 一級建築士 田 潤 宏 樹

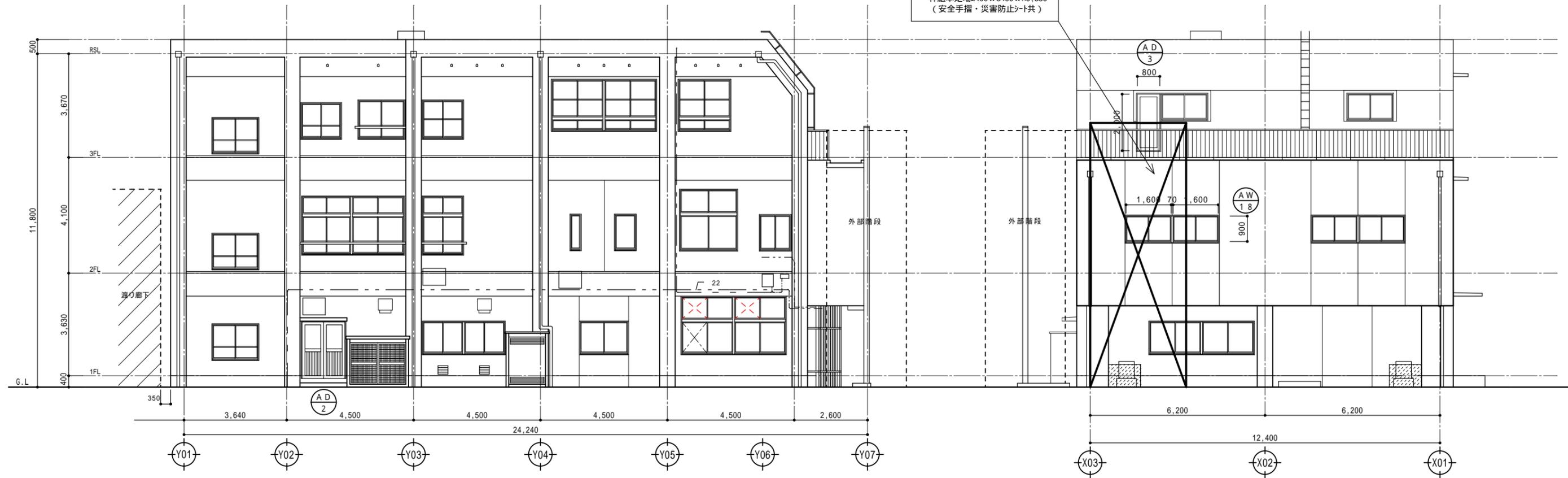
〒779-3610 徳島県美馬市脇町大字脇町705-2
 TEL0883(52)0574 FAX(53)9840



荷揚場（搬入・搬出）
 枠組本足場2400×3400×H9,350
 （安全手摺・災害防止シート共）

南立面図 S=1/100

東立面図 S=1/100

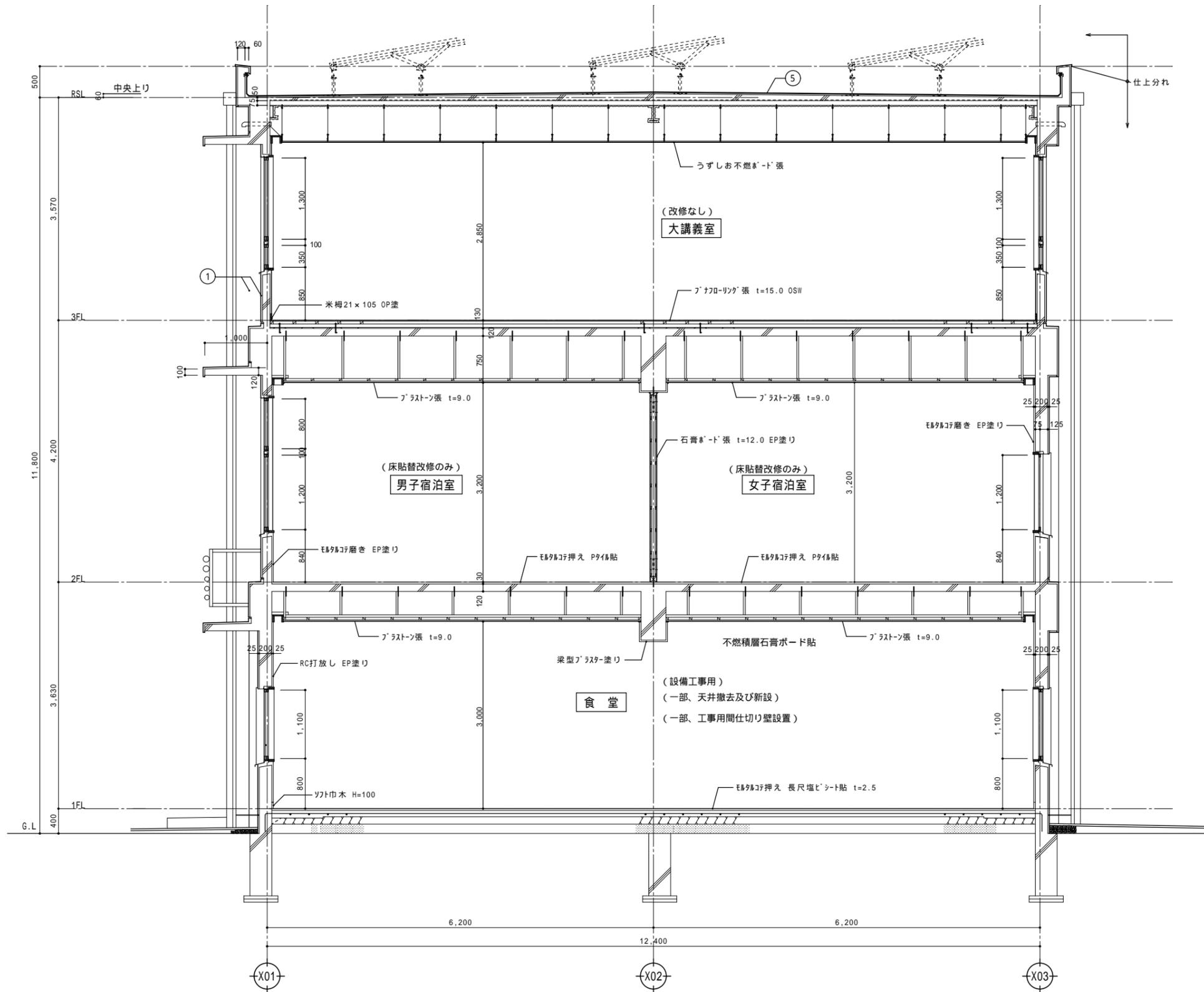


荷揚場（搬入・搬出）
 枠組本足場2400×3400×H9,350
 （安全手摺・災害防止シート共）

北立面図 S=1/100

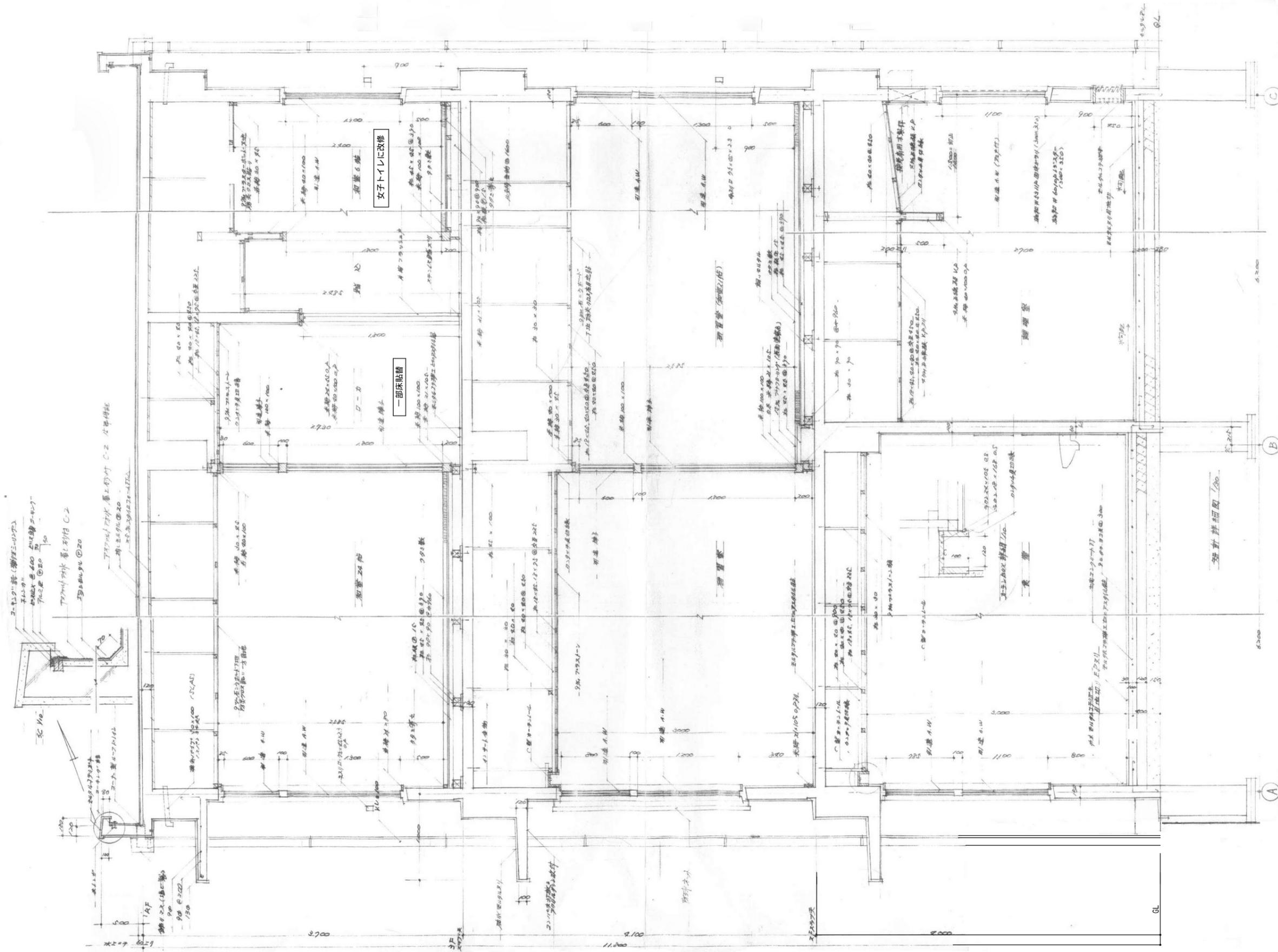
西立面図 S=1/100

| | | | | | | |
|------------|------|--------------------------------|------|----------------------|--|---|
| 徳島県土整備部営繕課 | 工事名称 | R 6 営繕 鳴門高等学校 鳴・撫養 研修会館等改修工事建築 | 図面番号 | A - 5 | max 株式会社 マックス設計 <small>Urban Consultant</small> 大臣登録 第302457号 知事登録 第11071号 一級建築士 田 潤 宏 樹 | 〒779-3610 徳島県美馬市脇町大字脇町705-2 TEL0883(52)0574 FAX(53)9840 |
| | 図名 | (現況) 立面図 | 縮尺 | A2 1/100 A3 1/142 | | |



(現況) 矩計図 S=1/50

| | | | | | | | |
|-------------|------|--------------------------------|------|--------------------|--|--|---|
| 徳島県土木整備部営繕課 | 工事名称 | R 6 営繕 鳴門高等学校 鳴・撫養 研修会館等改修工事建築 | 図面番号 | A - 6 | | max 株式会社 マックス設計 Urban Consultant 大臣登録 第302457号 知事登録 第11071号 一級建築士 田 潤 宏 樹 | 〒779-3610 徳島県美馬市脇町大字脇町705-2 TEL0883(52)0574 FAX(53)9840 |
| | 図名 | (現況) 矩計図 (1) | 縮尺 | A2 1/50 A3 1/71 | | | |



徳島県県土整備部管轄課

工事名称 R6管轄 鳴門高等学校 鳴・撫養 研修会館等改修工事建築

図名 (現況) 矩計図(2)

図面番号 A - 7

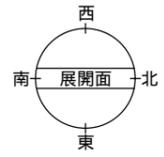
縮尺 A2 1/30
A3 1/43

max 株式会社 マックス設計
Urban Consultant

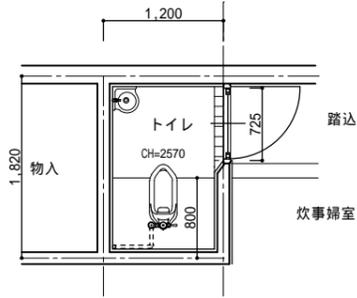
大臣登録 第302457号 知事登録 第11071号
一級建築士 田 潤 宏 樹

〒779-3610 徳島県美馬市脇町大字脇町705-2

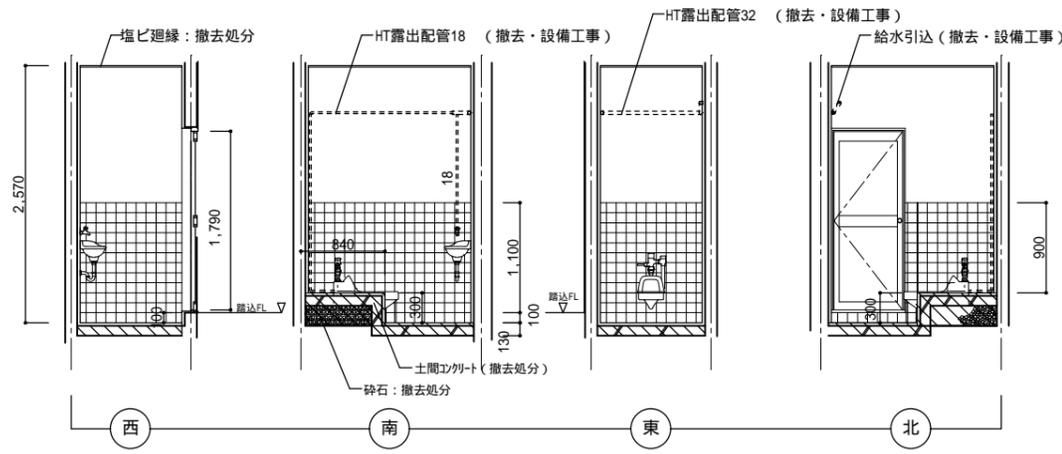
TEL0883(52)0574 FAX(53)9840



| 現況 1階 厨房トイレ仕上表 | | | |
|----------------|--------------------------|--|-----------------------|
| 厨房 トイレ | 床 | 25角磁器タイル貼 | 床: 土間RC共撤去処分、一部碎石撤去処分 |
| | 壁 | 上壁: モルタルコテ磨き E P 塗 腰壁: 100角タイル貼 FLH=1100 | 現況のまま |
| | 天井 | 石膏ボード貼9mm A E P 塗、 廻縁: 塩ビ製、 天井換気扇 | 廻り縁のみ撤去処分 |
| | その他 | 建具: アルミ片開ドア | 現況のまま |
| | 管設備 (兼用便器・隅手洗い・水栓・露出給水管) | | 撤去処分 (管設備工事) |

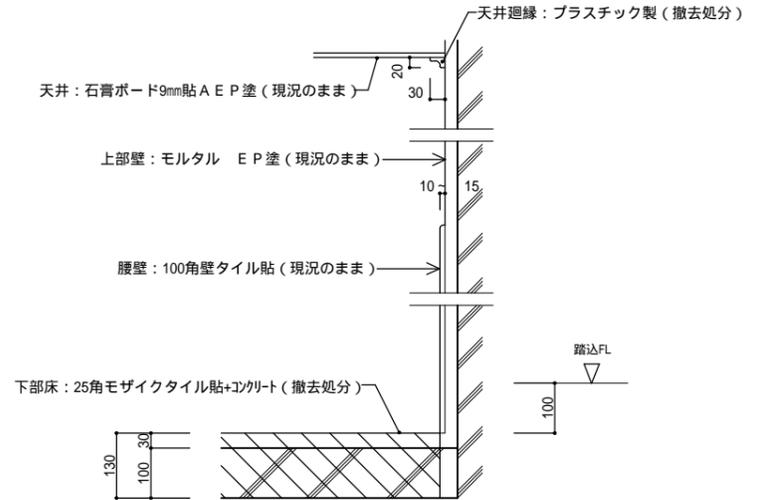


トイレ 平面図 S = 1 / 50

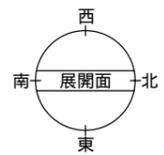
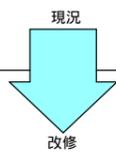


トイレ 展開図 S = 1 / 50

部分コンクリート撤去処分・砂利一旦撤去仮置・再使用

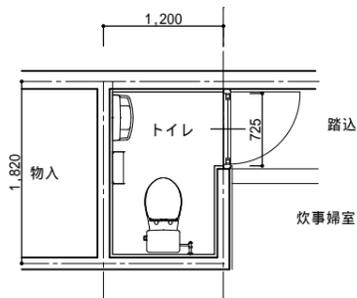


現況 床・壁面・天井 仕上げ状況 S = 1 / 10

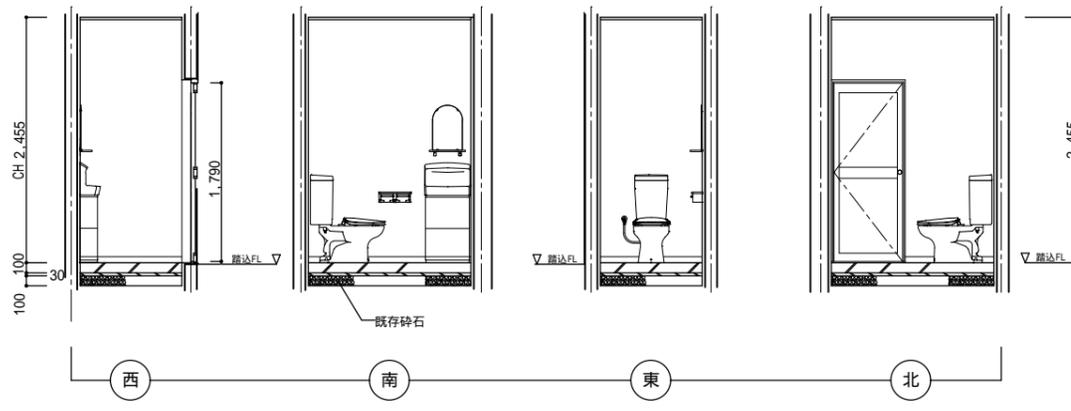


| 改修 1階 厨房トイレ仕上表 | | | |
|----------------|-----|--|--|
| 厨房 トイレ | 床 | (新設) 防滑塩ビシート貼 2.5mm仕上、コンクリートコテ押入下地 | |
| | 巾木 | (新設) ビニル巾木 H=60 | |
| | 壁 | (新設) 仕上貼: 不燃メラミン化粧板貼3mm、 下地上部壁: 樹脂モルタル下地調整塗、下地腰壁: 100角壁タイル貼 (下地調整) | |
| | 天井 | (再塗装) 既存9mm石膏ボード貼 A E P 塗を下地調整後、E P 塗 廻縁: 塩ビ製 (新設) | |
| | その他 | (新設) 設備工事 (ウォッシュレット洋式便器・紙巻器・手洗器・鏡・化粧櫃) | |

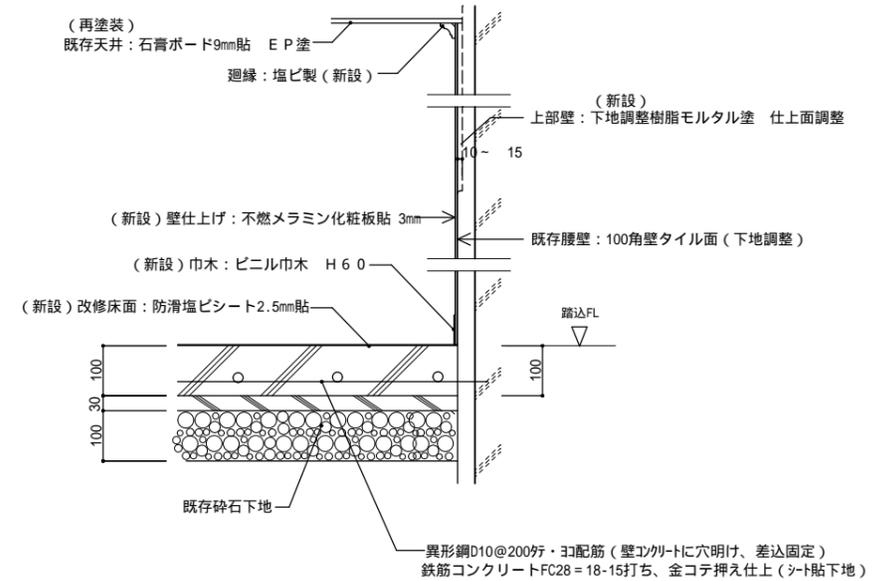
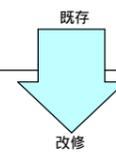
特記事項: 改修工事に伴う電気設備器具 (照明器具・自火報・非常照明等) は、一旦取り外し、再取付とする。



トイレ 平面図 S = 1 / 50



トイレ 展開図 S = 1 / 50



改修 床・壁面・天井 仕上げ状況 S = 1 / 10

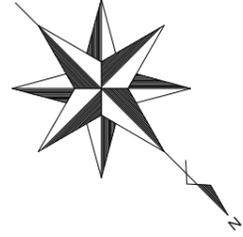
徳島県土木整備部営繕課

工事名称 R 6 営繕 鳴門高等学校 鳴・撫養 研修会館等改修工事建築
図名 (現況 改修) 1階 平面詳細図、展開図、仕上表

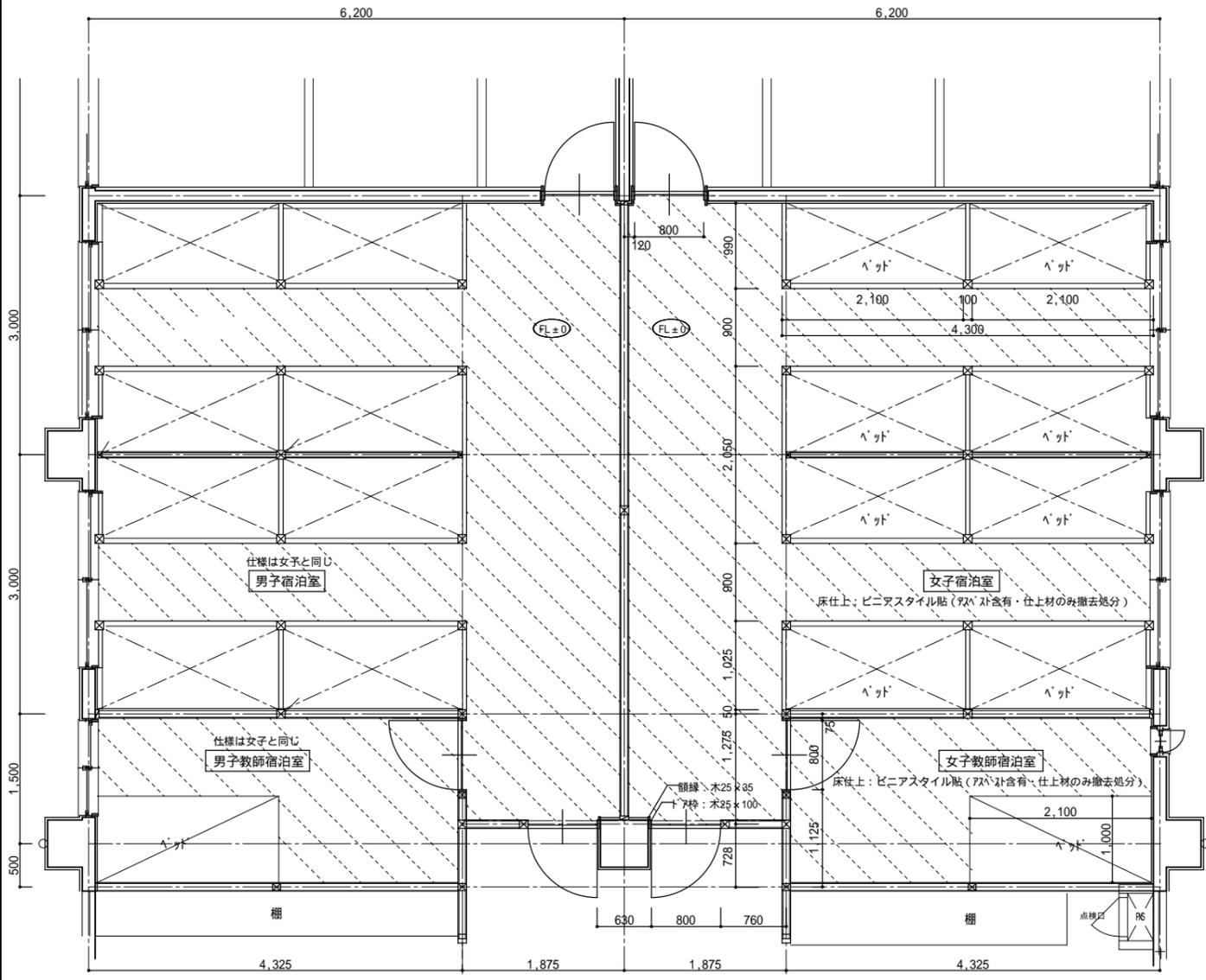
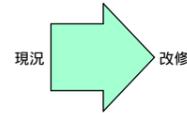
図面番号 A - 8
縮尺 A2 1/50
A3 1/71

max 株式会社 マックス設計
Urban Consultant
大臣登録 第302457号 知事登録 第11071号
一級建築士 田 潤 宏 樹

〒779-3610 徳島県美馬市脇町大字脇町705-2
TEL 0883(52)0574 FAX(53)9840

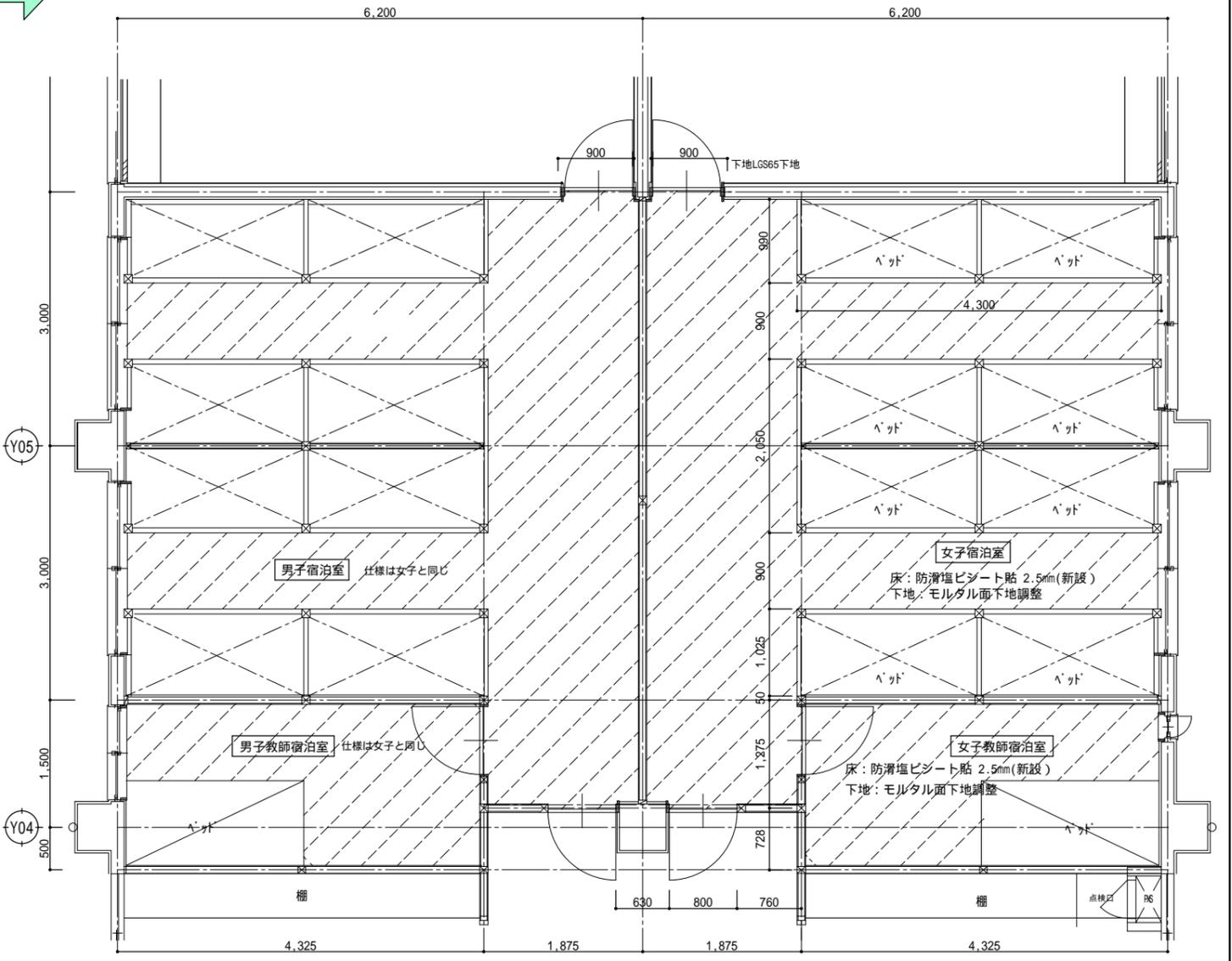


| 改修概要書 | | | | | | | | |
|-----------------------|----|----|-----------------------|--|---|---|---------------------|---------------|
| 室名 | | 床 | 巾木 | 壁 | 天井 | 天井高 | 備考 | |
| 宿 泊 室 生徒男女 教師男女 | 現況 | 仕上 | ビニスタイル貼 (7Aバシ含有・撤去処分) | 米柵 21x90 OP塗 (現況のまま) モルタルコテ磨き EP塗 (現況のまま) | 石膏ボード貼 12mm EP塗 (現況のまま) モルタルコテ磨き EP塗 (現況のまま) | 石膏ボード貼 9mm EP塗 (現況のまま) プラスチック貼 9mm EP塗 (現況のまま) | 2,500 ~ 3,200 | 木製ベッド (現況のまま) |
| | | 下地 | モルタルコテ押え (現況のまま) | 木製・RC (現況のまま) | 木製・RC (現況のまま) | 木製 (現況のまま) | | |
| | 改修 | 仕上 | 防滑塩ビシート貼 2.5mm(新設) | (改修なし) | (改修なし) | (改修なし) | 2,500 ~ 3,200 | (改修なし) |
| | | 下地 | モルタル面下地調整 | (改修なし) | (改修なし) | (改修なし) | | |



現況平面図 S = 1/50

凡例: は、宿泊室の床貼撤去範囲を表す



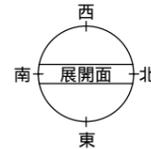
改修平面図 S = 1/50

凡例: は、宿泊室の床貼新設範囲を表す

改 修 概 要 書

| 室 名 | 踏 込 床 | 床 | 巾 木 | 腰 壁 | 壁 | 天 井 | 天井高 | 備 考 |
|--------------------|----------|---|--|--|--|--|---------------------|---|
| 男子トイレ 女子トイレ | 現況 仕上 | ビニアスタイル貼 (アスベスト含有・撤去処分) | 25角磁器タイル貼仕上 (現況のまま) | — | 100角タイル貼 FLH=1,100 (現況のまま) | モルタルコテ磨き E P 塗 (現況のまま) | 2,400 ~ 2,500 | (撤去処分・建築工事) 櫃: 100×100 人研ぎ ト化: 掃除具入れ・スリ合板フラッシュ40mm 頭壁 スリルC-40×20 床支持金物・取付金物等一式SUS製 |
| | 下地 | モルタルコテ押入 (現況のまま) | 防水モルタル下地 (現況のまま) | — | R C 壁 (現況のまま) | R C 壁 (現況のまま) | | (撤去処分・設備工事) 大便器・紙巻器・小便器・手洗器・鏡・S K |
| 改修 | 仕上 | 防滑塩ビシート貼 2.5mm (新設) | 防滑塩ビシート貼 2.5mm (新設) | ビニル巾木 H=60 (新設) | 不燃メラミン化粧板貼 3mm (新設) | 準不燃化粧石膏ボード貼 9.5mm (新設) 廻縁: 塩ビ製 (新設) | 2,400 | (新設・建築工事) トイレブース、掃除具入れ、ライニング、汚垂れ石800×600×6mm サッシ木額縁SOP塗 (再塗装) |
| | 下地 | モルタル面 (下地調整) | (新設) T1ラワン合板12mm+構造用ラワン合板15mm+鋼製床 既存タイル面・モルタル面 (下地調整) | (新設) 不燃メラミン化粧板貼 3mm | 100角タイル貼 FLH=1,100 (下地調整) | (新設) 樹脂モルタル塗下地調整 平均 15mm程度 | | (新設・設備工事) 暖房便座付洋式トイレ、2連棚付紙巻器、セカー付壁掛小便器 手洗器 (自動単水柱・手動石鹸入付)、S K、換気扇 |
| 男子シャワー室 女子シャワー室 | 現況 仕上 | ビニアスタイル貼 2mm (アスベスト含有・撤去処分) | 25角磁器タイル貼仕上 (撤去処分) | — | 100角タイル貼 FLH=1,100 (現況のまま) | モルタルコテ磨き E P 塗 (現況のまま) | 2,600 ~ 2,718 | (撤去処分・建築工事) 櫃: 100×50×110×68人研ぎ、床磁器質タイル・軽量コンクリート、手洗い: 人研ぎ カーテンレール: アルミ巾25×H20 (シャワー・吊り金物共) |
| | 下地 | モルタルコテ押入 (一部撤去処分) 既存 FL-250迄 (軽量コンクリート) (撤去処分) | 防水モルタル下地 (撤去処分) 既存 FL-250迄 (軽量コンクリート) (撤去処分) | — | R C 壁 (現況のまま) | R C 壁 (現況のまま) | | (撤去処分・設備工事) シャワーセット・鏡・化粧棚 |
| 改修 | 仕上 | 防滑塩ビシート貼 2.5mm (新設) | 防滑塩ビシート貼 2.5mm (新設) | ビニル巾木 H=60 (新設) 一部、H=70 (シャワーユニット部) | 不燃メラミン化粧板貼 3mm (新設) | 準不燃化粧石膏ボード貼 9.5mm (新設) 廻縁: 塩ビ製 (新設) | 2,600 | (新設・建築工事) シャワーユニット (0812換気扇付)、シャワー・吊り金物共、ライニング、脱衣棚 シャワーユニット間仕切壁: 不燃メラミン化粧板貼3mm、防水PB貼12.5mm+LGS65下地 シャワーユニット建具枠: 内装建材20×105、サッシ木額縁SOP塗 (再塗装)、ブラインド (女子のみ) |
| | 下地 | 一部、モルタル面 (下地調整) 撤去跡 R C 面 (下地調整) | (新設) T1ラワン合板12mm+構造用ラワン合板15mm+鋼製床 撤去跡 R C 面 (下地調整)、器具等撤去穴等補修 | (新設) 不燃メラミン化粧板貼 3mm | 100角タイル貼 FLH=1,100 (下地調整) 器具等撤去穴等補修 | (新設) 樹脂モルタル塗下地調整 平均 15mm程度 器具等撤去穴等補修 | | (新設・設備工事) カウンター式手洗器 (1箇所単水自動、1箇所手動、手動石鹸入付) 換気扇 |

特記事項: 改修工事に伴う電気設備器具 (照明器具・自火報・非常照明等) は、一旦取り外し、再取付とする。 各室に換気扇新設 (設備図による) とする (設備工事)。

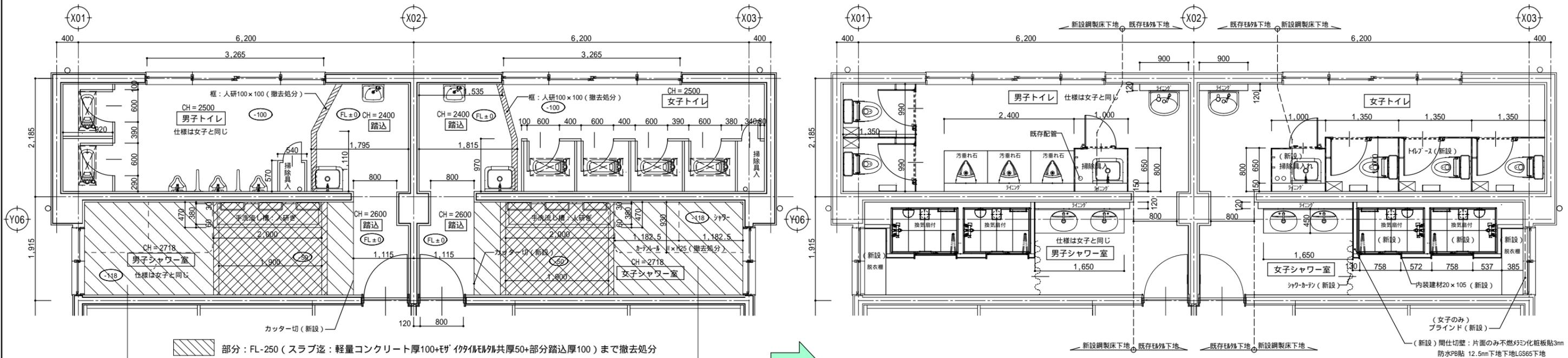


便器解体撤去跡補修の概要

凡例 は、便器解体撤去跡土間コンクリート復旧 (補強共) 位置 6箇所を表す

便器撤去跡復旧: 異形鋼D10@200打・30配筋、土間厚200mm (土間コンクリートに穴明け、差込固定)
鉄筋コンクリートFC28=18-15打ち、金コテ押え仕上げ (鋼製床下地)

特記事項: 既存便器撤去処分は別途工事とする。既存便器撤去跡補修は本工事とする。



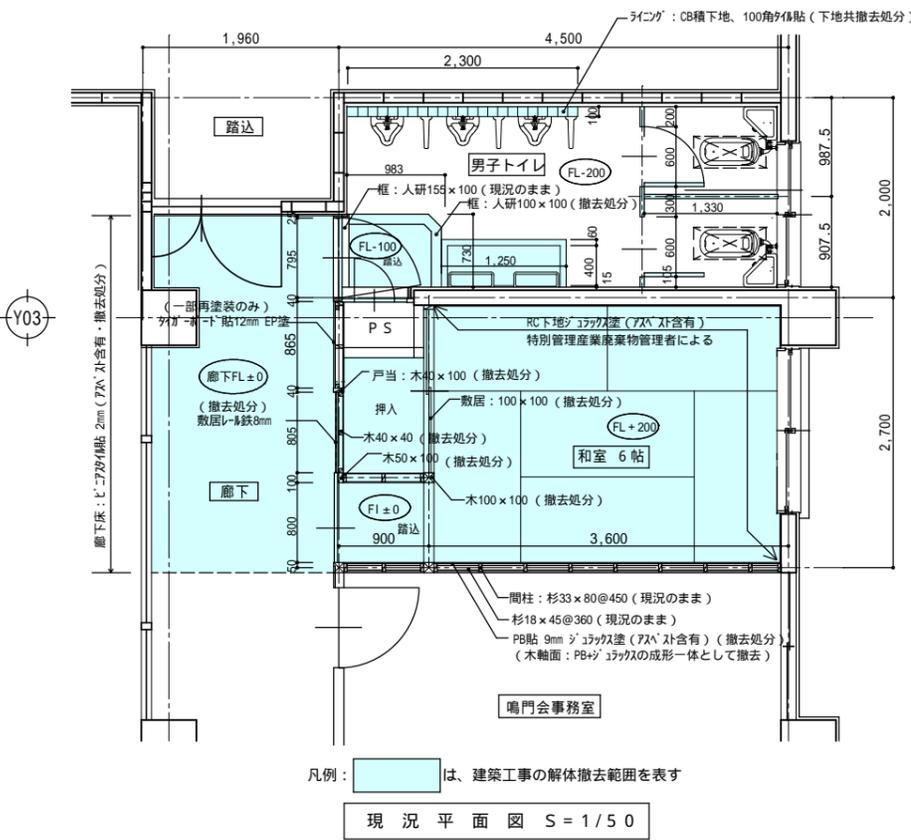
現 況 平 面 図 S = 1 / 5 0

改 修 平 面 図 S = 1 / 5 0

改修概要書

特記事項：改修に伴う電気設備器具（照明器具・自火報・非常照明等）は、一旦取り外し、再取付とする。（設備工事）

| 室名 | 踏込床 | 床 | 巾木 | 腰壁 | 壁 | 天井 | 天井高 | 備考 | |
|--------------|-------|------------------------------------|---|--------------------------|---|---|---------------------------------------|-------|---|
| 男子トイレ | 現況 仕上 | ビニアスタイル貼 (アスベスト含有・撤去処分) | 25角磁器タイル貼仕上 (現況のまま) | — | 100角タイル貼 FLH=1,230 (現況のまま) ライニング：100角タイル貼 CB100積下地 (撤去処分) | モルタルコテ磨き E P 塗 (現況のまま) | E P 塗 (撤去処分) 廻縁：塩ビ製 (撤去処分) | 2,530 | (撤去処分・建築工事) 扉：100×100 人研ぎ、手洗い：人研ぎ製、片開戸：ポリ合板70×36mm トイレ：ポリ合板70×40mm、頭懸 スチール-40×20 床支持金物・取付金物等一式SUS製 |
| | 現況 下地 | モルタルコテ押入 (撤去処分) 軽量コンクリート (撤去処分) | 防水モルタル下地 (現況のまま) | — | RC壁 (現況のまま) | — | 石膏ボード底目地9mm貼 (撤去処分) | — | (撤去処分・設備工事) 隅手洗い付大便器・紙巻器・小便器・小便器スクリーン・鏡・化粧棚 |
| 男子トイレ | 改修 仕上 | — | 防滑塩ビシート貼 2.5mm (新設) | ビニル巾木 H=60 (新設) | — | 不燃メラミン化粧板貼 3mm (新設) | 準不燃化粧石膏ボード貼 9.5mm (新設) 廻縁：塩ビ製 (新設) | 2,330 | (新設・建築工事) トイレ：間仕切スクリーン、ライニング、汚れたタイル800×600×6mm、SUS30 横棧 片引ハンガー戸、既存木製建具枠・鴨居・サッシ木額縁 (SOP再塗装) |
| | 改修 下地 | — | (新設) T1ラワン合板12mm+構造用ラワン合板15mm+鋼製床 既存タイル面・モルタル面 (下地調整) | (新設) 不燃メラミン化粧板貼 3mm | (新設) 100角タイル貼 (下地調整) | (新設) 樹脂モルタル塗下地調整 平均 15mm程度 | 天井下地軸組 (補修) | — | (新設・設備工事) 暖房便座付洋式トイレ、2連棚付紙巻器、セカ付壁掛小便器 手洗器 (自動単水栓・手動石鹸入付)、換気扇 |
| 女子トイレ (既存和室) | 現況 仕上 | ビニアスタイル貼 2mm (アスベスト含有・撤去処分) | 畳敷込50mm (撤去処分) | 雑巾摺 (撤去処分) | — | ジュラックス塗 (アスベスト含有) (撤去処分) (木軸面：PB+ジュラックスの成形一体として撤去) (RC面：ジュラックスのみ撤去 特別管理産業廃棄物管理者による) | 防災クロス貼 (撤去処分) 廻縁：塩ビ製 (撤去処分) | 2,600 | (撤去処分・建築工事) 押入：木製軸組・引違フスマ共、内部間仕切壁 片引戸：ポリ合板70×36mm、木枠共、敷居レール鉄8mm 共 |
| | 現況 下地 | モルタルコテ押入 (現況のまま) | 木下地 (撤去処分) 下地板：杉板15mm 根太：米梅45×45@390 大引：杉90×90@900 | — | RC壁 (現況のまま)、木部壁下地：P B 9mm貼 (撤去処分) 木壁軸組 (一部撤去処分)、撤去壁軸組：間柱杉 33×80@450、胴縁杉 18×45@360杉 | — | P B 9mm貼 (撤去処分) 天井下地軸組 (現況のまま) | — | — |
| | 改修 仕上 | 防滑塩ビシート貼 2.5mm (新設) | 防滑塩ビシート貼 2.5mm (新設) | ビニル巾木 H=60 (新設) | — | 不燃メラミン化粧板貼 3mm (新設) | 準不燃化粧石膏ボード貼 9.5mm (新設) 廻縁：塩ビ製 (新設) | 2,600 | (新設・建築工事) トイレ：掃除具入、ライニング、片引ハンガー戸、サッシ木額縁 (SOP再塗装) アスベスト遮断にブラインド設置 |
| | 改修 下地 | モルタル面 (下地調整) | モルタル面 (下地調整) | — | — | 既存木軸壁：防水PB12.5mm貼 (新設) + 既存下地木軸組 (損傷部分補修) 既存RC壁面：樹脂モルタル塗 (新設) 新設壁：両面防水PB12.5mm貼 (新設) +、LGS90mm (新設) | 天井下地軸組 (補修) | — | (新設・設備工事) 暖房便座付洋式トイレ、2連棚付紙巻器、S K かみかみ手洗器 (自動単水栓・手動石鹸入)、換気扇 |
| 廊下 | 現況 仕上 | — | ビニアスタイル貼 2mm (アスベスト含有) (一部撤去処分) | ビニル巾木 H=100 (一部撤去処分) | — | E P 塗 (一部撤去処分) | プラストーン貼 9mm (改修なし) 廻縁：塩ビ製 (撤去処分) | 2,730 | 室名札：塩ビ製アルミ枠85×270×2枚 (撤去処分) |
| | 現況 下地 | — | モルタルコテ押入 (現況のまま) | タイガーボード貼12mm (一部撤去処分) | — | タイガーボード貼12mm (一部撤去処分) | 天井下地軸組 (改修なし) | — | — |
| | 改修 仕上 | — | 防滑塩ビシート貼 2.5mm (撤去部分のみ新設) | ビニル巾木 H=100 (一部新設) | — | 不燃メラミン化粧板貼 3mm (一部新設) | — | 2,730 | 男女サイン：アクリル樹脂 (乳白) 5mm、シルク印刷 180×80 (新設) |
| | 改修 下地 | — | モルタル面 (下地調整) | 不燃PB貼 12.5mm (新設) (一部新設) | — | 不燃PB貼 12.5mm (一部新設) 既存ボード撤去面 (下地補修) | 廻縁：塩ビ製 (新設) | — | 縦見切縁：桧40×21 SOP塗 (新設) |



便器解体撤去跡補修の概要

凡例 [] は、便器解体撤去跡土間コンクリート復旧 (補強共) 位置 6 箇所を表す

便器撤去跡復旧：真形鋼D10@200φ・30配筋、土間厚200mm (土間コンクリートに穴明け、差込固定)
鉄筋コンクリートFC28 = 18-15打ち、金コテ押入仕上げ (鋼製床下地)

特記事項：既存撤去処分は別途管工事とする。既存便器撤去跡補強は本工事とする。

